

バイク専用ドライブレコーダー
EDRシリーズ専用PCソフト

Moto DR Player

Version 2.0

取扱説明書

最新の専用 PC ソフト「Moto DR Player」および取扱説明書は、弊社 WEB サイトにて案内しております。下記 URL にアクセス頂き、ご確認ください。

<https://www.mskw.co.jp/motorcycle/edr/support/>

— ご案内 —

Moto DR Player の基本的な操作説明は、24 ページから記載しています。

- 本書の著作権は、株式会社ミツバサンコーワに帰属します。弊社の許可を得ずに本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書に掲載されている画像には、開発中の画像または最新のバージョンとは異なる画像が含まれます。そのため、実際の画面の表示と異なることがあります。
- 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。

■ Moto DR Player について

本ソフトウェア「Moto DR Player」では、弊社のバイク専用ドライブレコーダー EDR シリーズで録画したファイルの再生、走行軌跡の地図表示※、走行速度の表示、録画ファイルの連結保存やバックアップをすることが出来ます。

※GPS搭載モデルを使用した場合のみ可能です。

●動作システム要件 2021 年 1 月現在

- O S: Microsoft Windows 10 Version 1809 以降(32bit 版では一部で使用頂けない機能があります)
- C P U: Intel Core i3 3.0GHz 相当以上
- メモ リ: 4GB 以上
- GPUメモ リ: 1GB 以上
- モニ タ: 1280 × 1024 pixel 以上
- その他: ・ microSDHC、microSDXC に対応した microSD カードスロット、SD カードアダプターを使用する場合は、SDHC、SDXC に対応した SD カードスロットまたは USB 接続の microSD/SD カードリーダーライターなど
- ・ インターネット接続環境(GPS 搭載モデルを使用し、地図表示する場合)

注 意

- ・ 上記システム要件を満足する、すべての PC において、動作を保証するものではありません。
- ・ ご使用の PC 環境によって、一部の機能が動作しなかったり、表示や再生が正しくおこなわれない場合があります。

●主な機能

■録画ファイルの確認

- ・ 録画ファイルの再生
microSD カード内の録画ファイル(常時、衝撃、手動)の再生
PC 内ストレージにバックアップした録画ファイルの再生
連続したファイルを再生(つなぎ目のないシームレス再生)
- ・ 走行軌跡の表示(GPS 搭載モデルのみ)
録画ファイルの再生に合わせ、自転車位置と走行軌跡を地図に表示
- ・ 走行速度の表示(GPS 搭載モデルのみ)
再生時に GPS 測位データから走行速度の目安を表示

■録画ファイル操作

- ・ 録画ファイルのバックアップ
録画ファイルを PC 内ストレージにバックアップ
- ・ 録画ファイルの連結保存
録画ファイルをつなぎ目のない、ひとつのファイル※¹ にして保存※²
- ・ GPS ログデータの保存(GPS 搭載モデルのみ)
記録した GPS のログデータを抽出して保存※³

※¹ 結合するファイル数が多い場合、複数のファイルに分割して保存することがあります。

※² 「Moto DR Player」では、連結保存したファイルの読み込みや再生は出来ません。

※³ 「Moto DR Player」では、保存したログファイルの読み込みや再生は出来ません。

■本体機能操作と設定操作

- ・ 画像サイズの設定
1080P FHD / 720P HD / VGA
- ・ 画質の設定
HIGH / MID / LOW
- ・ 衝撃検知感度の設定
OFF / 5 / 4 / 3 / 2 / 1
- ・ 音声記録の設定
ON / OFF
- ・ 録画ファイルの上書き保存設定
常時 ON / OFF
衝撃・手動 ON / OFF

目次

●はじめに	
Moto DR Player について	2
目次	3
使用上の注意	4
録画ファイルについて	5
●セットアップ	
Moto DR Player をインストールする	6 ~ 9
Moto DR Player を起動する・終了する	10 ~ 11
Moto DR Player をアンインストールする	12 ~ 13
●表示画面の説明	
画面表示について	14
メニューバー	15 ~ 18
メインビューと再生ツール	19
地図ウィンドウ	20
サブビューウィンドウ	21
ファイルリスト	21
速度ウィンドウ	22
Gグラフウィンドウ	22 ~ 23
●再生操作	
ファイルを読み込む	24 ~ 25
ファイルリストの操作	26
基本的な再生操作	27 ~ 28
コマ送り / コマ戻し	29
再生速度を変更する	29
再生時の音声をミュートする	30
静止画を撮影する	30
ズーム機能を使う	31
メインビューとサブビューの画面を入れ替える	32
全画面表示で再生する	33
全画面表示状態でGグラフの表示/非表示を切り替える	34
●画面の調整	
ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える	35 ~ 36
ウィンドウの幅、高さを調整する	37
ウィンドウ構成を初期の状態に戻す	38
ウィンドウ構成の記憶機能	38
●便利な機能	
録画ファイルを連結保存する	39 ~ 43
GPSログファイルを保存する	44 ~ 47
録画ファイルをバックアップする	48 ~ 49
Moto DR Player で本体の録画 / 録音設定をする	50
●こんなときは	
こんなときは—Q&A—	51 ~ 56
オンラインサポートページを開く	57
●その他	
ソフトウェアのバージョンを確認する	58
ライセンス情報	59
お問い合わせ窓口	59

■ 使用上の注意

● microSD カード、ファイル（データ）に関する注意

- ・ microSD カードは、弊社製品バイク専用ドライブレコーダー「EDR シリーズ」の取扱説明書または microSD カードの取扱説明書を参照して、正しくお取り扱いください。
- ・ microSD カードを PC に接続する際は、ご使用の PC またはカードリーダーライター等の取扱説明書を参照しておこなってください。
- ・ 本ソフトウェアの使用の有無や本ソフトウェアに起因する不具合の発生如何に関わらず、microSD カードや PC 内に保存されたファイル(データ)の消失、破損、損害について、弊社は一切その責任を負いません。

● ソフトウェアに関する注意

- ・ 本ソフトウェアは、弊社製品バイク専用ドライブレコーダー「EDR シリーズ」で録画したフォルダ構成、ファイルのみに対応しています。
- ・ 本ソフトウェアに他社製品のドライブレコーダーのファイルおよびその他のファイルを読み込んで発生した PC やソフトウェアの不具合、ファイル(データ)の消失、破損、損害について、弊社は一切のその責任を負いません。
- ・ ストレージ(microSD カード、SSD や HDD などの記憶装置)、ファイルおよび関連する機器の状態、対応する各種規格、性能によっては、ファイルを認識出来なかったり、エラーが発生することがあります。
- ・ 本ソフトウェアにより表示される映像や付帯情報(日時、緯度、経度、地図による車両の位置表示、走行軌跡表示、走行速度、G グラフなど)は、ファイルに記録された情報に基づき表示しています。実際の走行状況を正確に表したものではありません。
- ・ PC の環境やファイルの状態によっては、本ソフトウェアにより表示される映像と連動する付帯情報(日時、緯度、経度、地図による車両の位置表示、走行軌跡表示、走行速度、G グラフなど)が正しく表示されないことがあります。
- ・ 本ソフトウェアに表示される地図は、Google マップを使用しています。再生する時期により、地図情報が更新されることで、車両の位置や走行軌跡、地図の道路表示が異なることがあります。
- ・ 本ソフトウェアの地図表示機能を使用するには、インターネットへの接続が必要です。またセキュリティソフトやファイアウォールの設定によって、地図表示機能が使用出来ないことがあります。この場合、セキュリティソフトやファイアウォールの設定から、本ソフトウェアを「インターネット接続を許可」または「インターネット接続拒否リスト」から除外するなどの設定をおこなってください。なおプロキシサーバーを経由しているネットワークで PC を使用している場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- ・ 本ソフトウェアを使用して長時間の映像視聴は、視力低下など健康に影響を与える可能性があります。適度に休憩を入れて視聴してください。

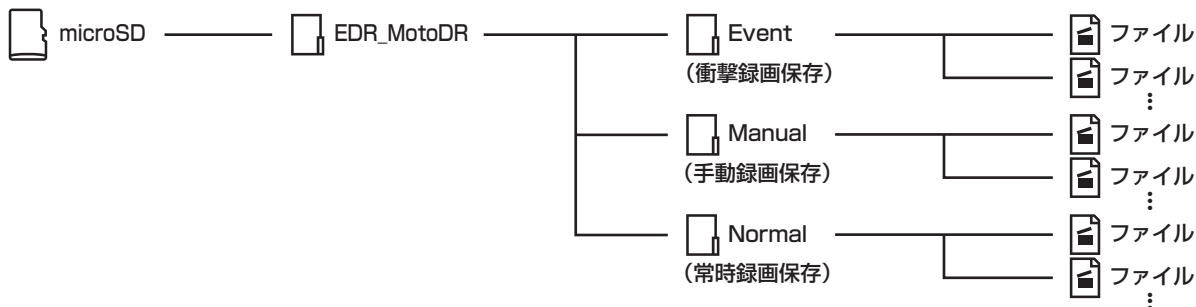
録画ファイルについて

● microSD カードのフォルダ・録画ファイル構成

microSD カードのフォルダ・録画ファイルは、下記のように構成されています。

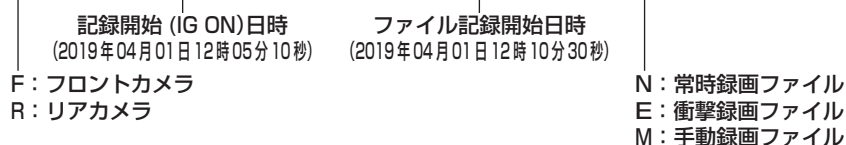
- microSD カード内のフォルダ構成およびフォルダ名、ファイル名は変更しないでください。ファイルを正しく EDR 本体で認識出来なかったり、本ソフトウェアで再生出来なくなります。

● フォルダ構成図



● ファイル名の構成

例：F_20190401120510_20190401121030_N.MP4



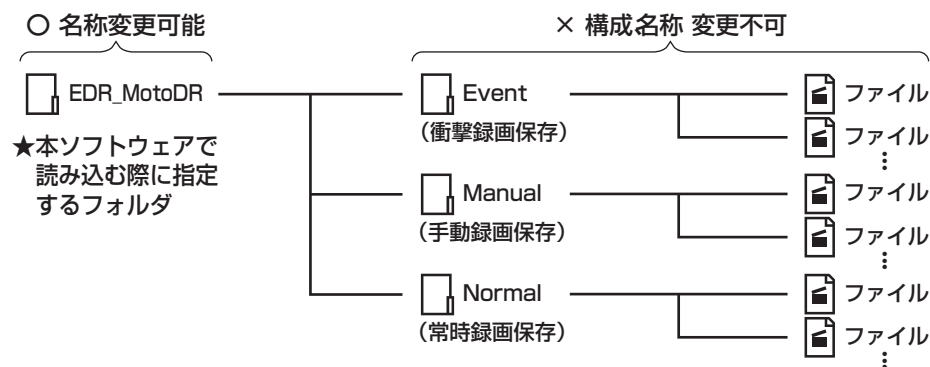
- 本ソフトウェア以外の動画再生ソフトを使用して、録画ファイルを再生することができます。その際にファイルを編集したり、上書きすると、G センサーや GPS の記録情報が失われ、本ソフトウェアで正常に再生出来ない場合があります。

● バックアップファイルの注意事項

- microSD カード内の録画ファイルは、PC 内やその他の外部ストレージにバックアップした際、下記注意事項に従って管理してください。本ソフトウェアで正しく再生出来なくなります。

- ・ フォルダ内のフォルダ構成は、変更しないでください。
- ・ フォルダ名の変更は、下図で指定する範囲でおこなってください。
- ・ ファイル名は、変更しないでください。
- ・ バックアップしたフォルダ内に無関係のフォルダやファイルを混在させないでください。

● バックアップしたフォルダ、ファイルの構成とフォルダ名称の変更可能範囲



- 本ソフトウェアのバックアップ機能を使用してバックアップする場合は、「録画ファイルをバックアップする」(48 ページ)を参照してください。

■ Moto DR Player をインストールする

●インストールに関する注意

- ・ ご使用する PC が、本ソフトウェアの動作システム要件 (2 ページ) を満たしているか確認してください。なお、動作システム要件を満たしていた場合でも、PC の環境によって正常に動作しないことがあります。
- ・ インストールする PC に本ソフトウェア (Moto DR Player Version 2 シリーズ) の別のバージョンがインストールされている場合は、必ず別のバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。アンインストールをする場合は、「Moto DR Player をアンインストールする」(12 ページ)を参照してください。
- ・ 本ソフトウェアのインストールには、インストールする PC の管理者権限が必要です。管理者権限がない場合は PC の管理者にインストールを依頼してください。
- ・ インストールする PC が「S モード」で動作している場合、本ソフトウェアをインストールすることが出来ません。「S モード」を解除してからインストールしてください。「S モード」を解除すると「S モード」に戻すことは出来ません。お客様の判断で「S モード」を解除してください。「S モード」の解除によって発生した損害等について、弊社は一切その責任を負いません。
- ・ 本ソフトウェアのインストールには、200MB 以上の空き容量が必要です。インストールするドライブ (C ドライブ)の空き要領を確認してください。

●インストール手順

※64bit Version 2.0.0 をインストールする手順の画像です。

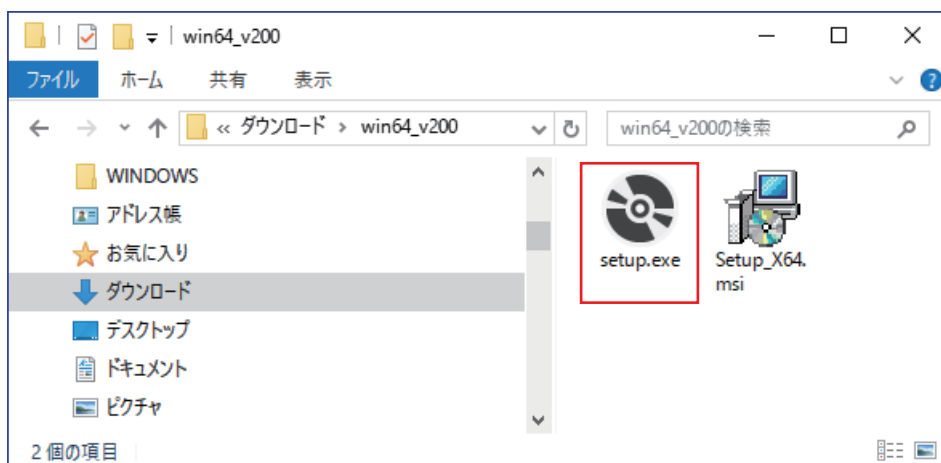
ご使用の PC のシステム、インストールするソフトウェアのバージョンに読み替えてインストールをしてください。

- ① ダウンロードした圧縮ファイル (ZIP 形式) を展開 (解凍) します。



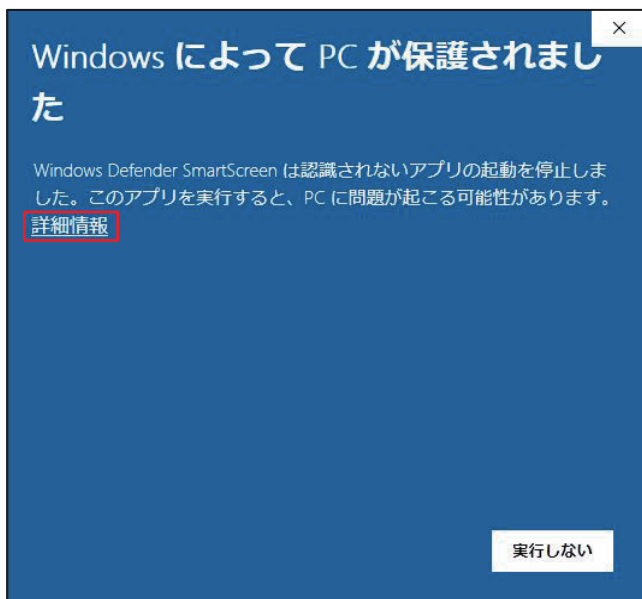
win64_v200.zip

- ② 「setup(.exe)」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。

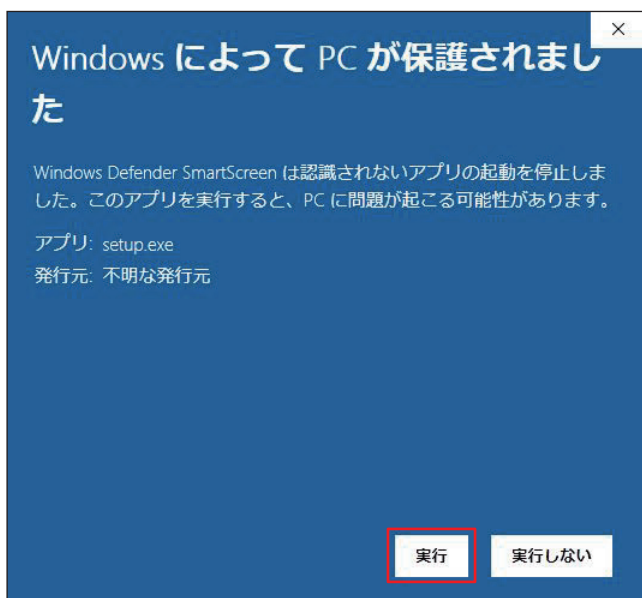


- ※ 「setup(.exe)」ダブルクリック後に「Microsoft.NET Framework」のインストールを求められることがあります。この場合は、ライセンス条項を良くお読みになり、インストールしてください。
- ※ 「Microsoft.NET Framework」のインストールが始まると、「Moto DR Player」のインストールは中止されます。「Microsoft.NET Framework」インストール完了後に再度「Moto DR Player」のインストールをしてください。

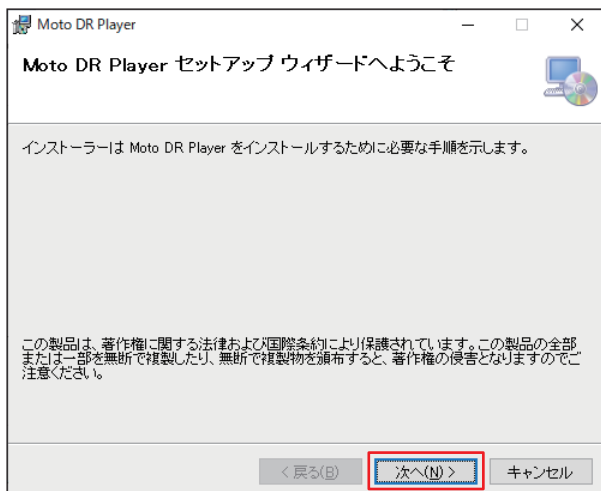
- ③ 「Windows によって PC が保護されました」の画面が表示されたら「詳細情報」をクリックします。



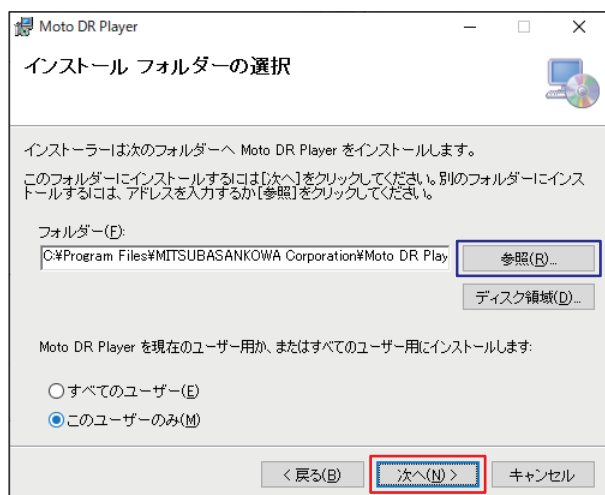
- ④ 表示中の画面が下記の表示に変わったら「実行」をクリックします。



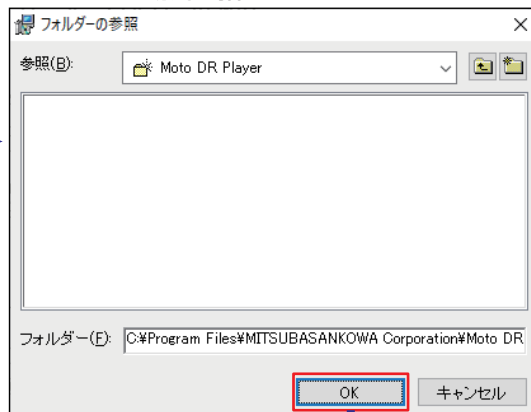
- ⑤ 「Moto DR Player セットアップ ウィザードへようこそ」の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



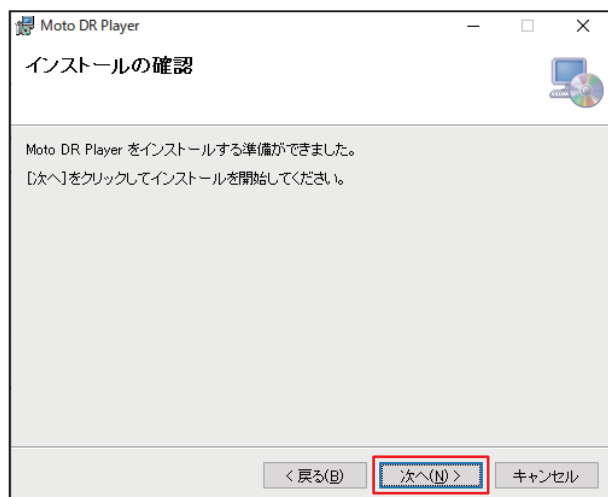
- ⑥ 「インストール フォルダーの選択」の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



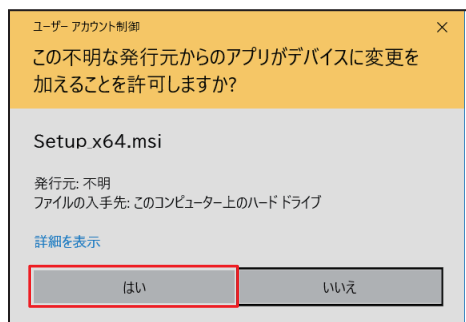
※ 別の場所に本ソフトウェアをインストールする場合は「参照」をクリックして、「フォルダーの参照」画面からインストールする場所を指定してください。



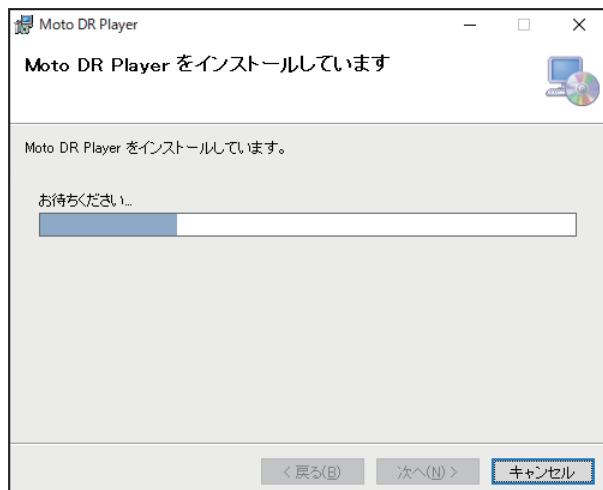
- ⑦ 「インストールの確認」画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



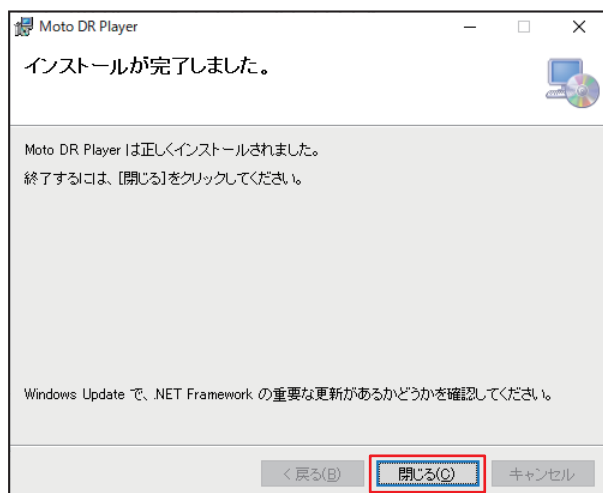
- ⑧ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「はい」をクリックします。



- ⑨ 「Moto DR Player をインストールしています」の画面に変わり、インストールが開始されます。(画面が切り替わるまで待ちます)



- ⑩ 「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら「閉じる」をクリックします。



以上で「Moto DR Player」のインストール手順の説明は終わりです。

■ Moto DR Player を起動する・終了する

● Moto DR Player を起動する

ここでは、Moto DR Player の代表的な起動方法について、説明します。

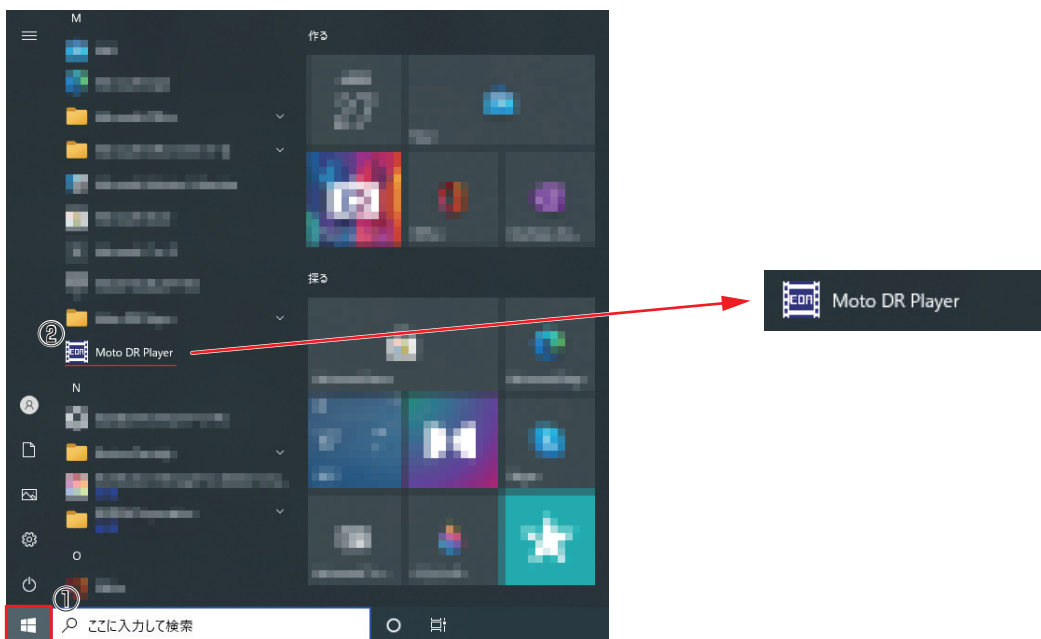
■ デスクトップに作成されたショートカットから起動する

- ① PC を操作し、PC のデスクトップ画面を表示します。
 - ・画面の右下の角にカーソルを合わせてクリック、またはキーボードの[Win] + [D] 操作で、デスクトップ画面を表示します。
- ② デスクトップに作成された Moto DR Player のショートカットをダブルクリックします。



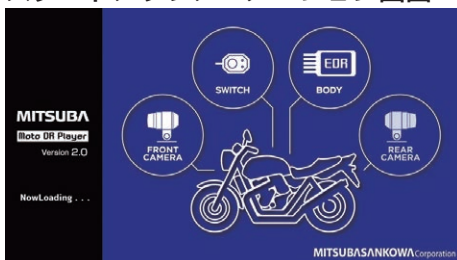
■ スタートメニューから起動する

- ① スタートメニューを表示します。
 - ・画面の左下の [Win] アイコンをクリックまたはキーボードの [Win] 操作で、スタートメニューを表示します。
- ② スタートメニューを下にスクロールし、見出しの「M」から「Moto DR Player」を探し、「Moto DR Player」をクリックします。

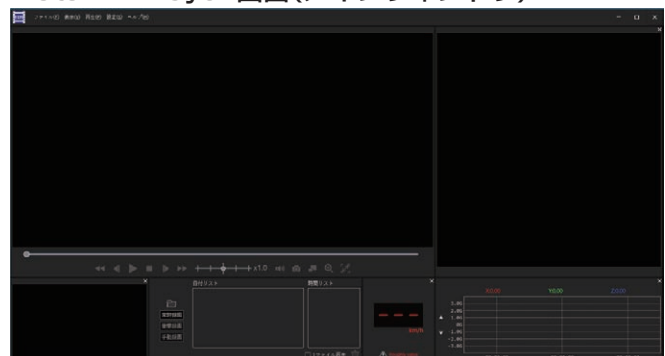


■ Moto DR Player が起動するとスタートアップアニメーションが表示され、その後 Moto DR Player の画面が表示されます。

スタートアップアニメーション画面



Moto DR Player 画面(メインウィンドウ)



以上で「Moto DR Player」の起動方法の説明は終わりです。

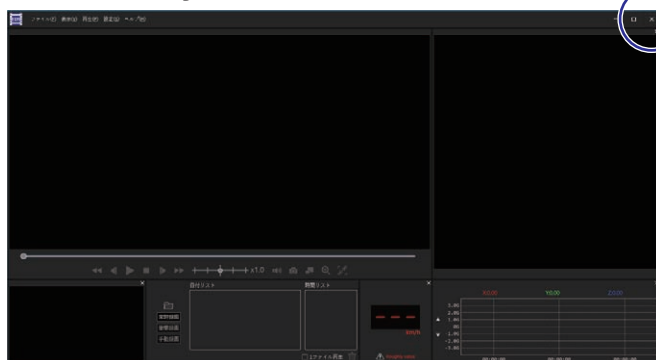
● Moto DR Player を終了する

Moto DR Player の代表的な終了方法について、説明します。

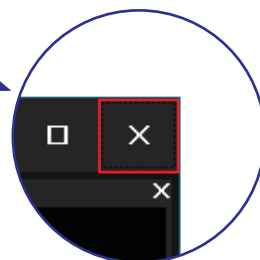
■ メインウィンドウの「×」(終了)ボタンで終了する。

- ① Moto DR Player のメインウィンドウの右上の「×」ボタンをクリックします。
 - ・メインウィンドウ右上の「×」にカーソルを合わせると、「×」ボタンが赤色に変わります。

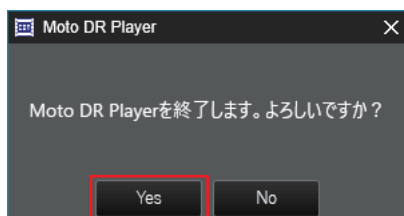
Moto DR Player 画面(メインウィンドウ)



「×」(終了)ボタン



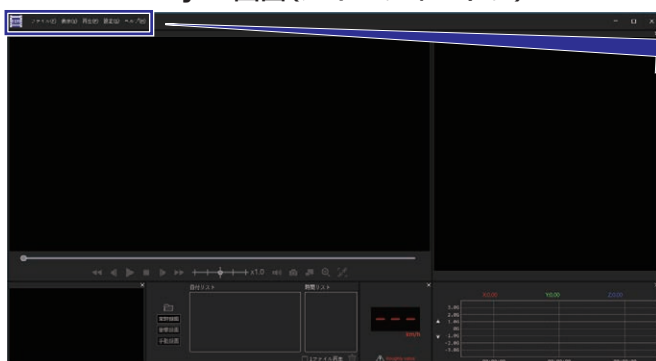
- ② 終了の確認画面が表示されたら「Yes」ボタンをクリックします。



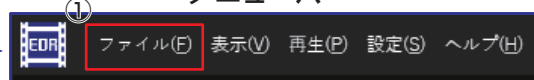
■ メニューの「終了」から終了する。

- ① Moto DR Player のメニューバーの「ファイル」をクリックします。
- ② 表示されたメニューから、一番下の終了をクリックします。

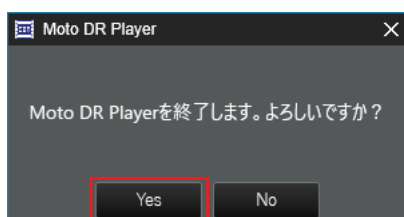
Moto DR Player 画面(メインウィンドウ)



メニューバー



- ③ 終了の確認画面が表示されたら「Yes」ボタンをクリックします。



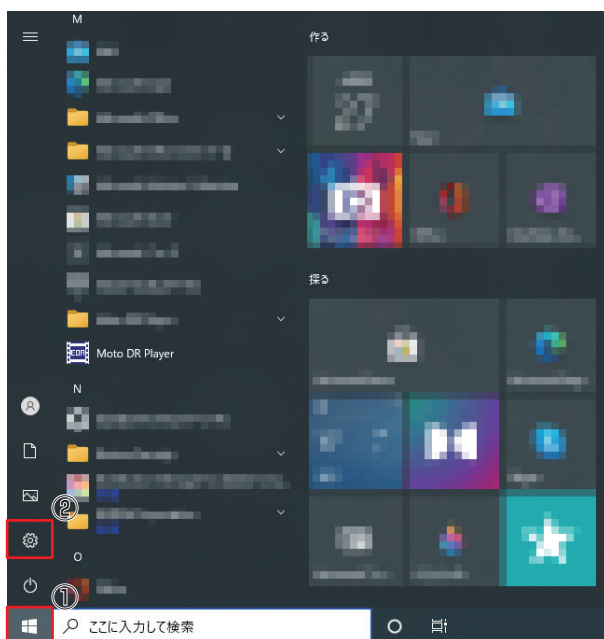
以上で「Moto DR Player」の終了方法の説明は終わりです。

Moto DR Player をアンインストールする

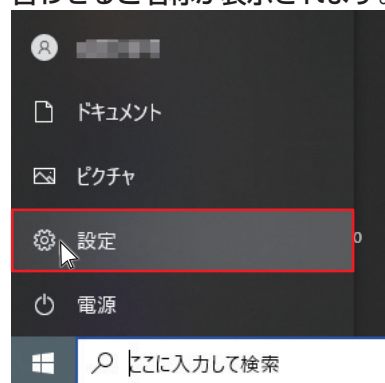
本ソフトウェアの使用を中止する場合や新しいバージョンの Moto DR Player をインストールする場合、本ソフトウェアのアンインストールをしてください。

●アンインストール手順

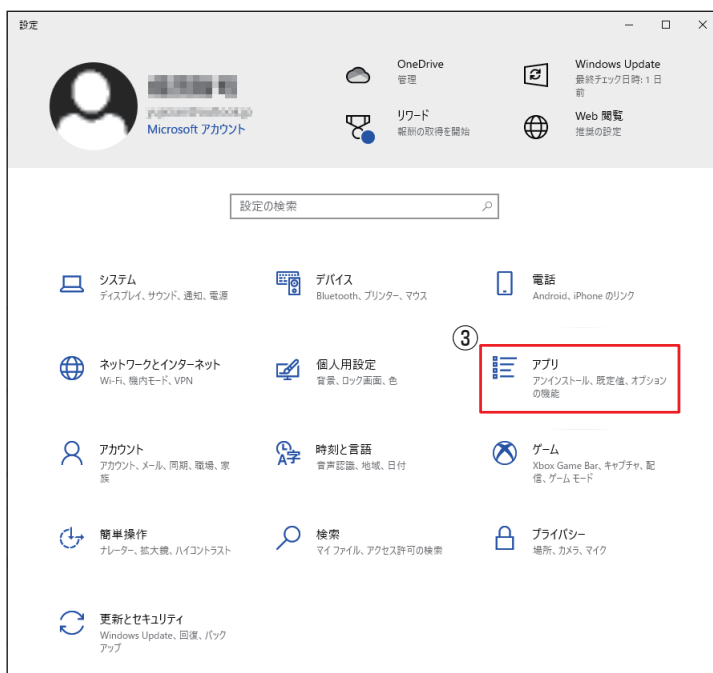
- ① スタートメニューを表示します。
 - ・画面の左下の[≡]アイコンをクリックまたはキーボードの[Win]操作で、スタートメニューを表示することが出来ます。
- ② 「設定」を選択し、設定画面を表示します。
 - ・スタートメニューの左側のアイコンから[設定]をクリックします。



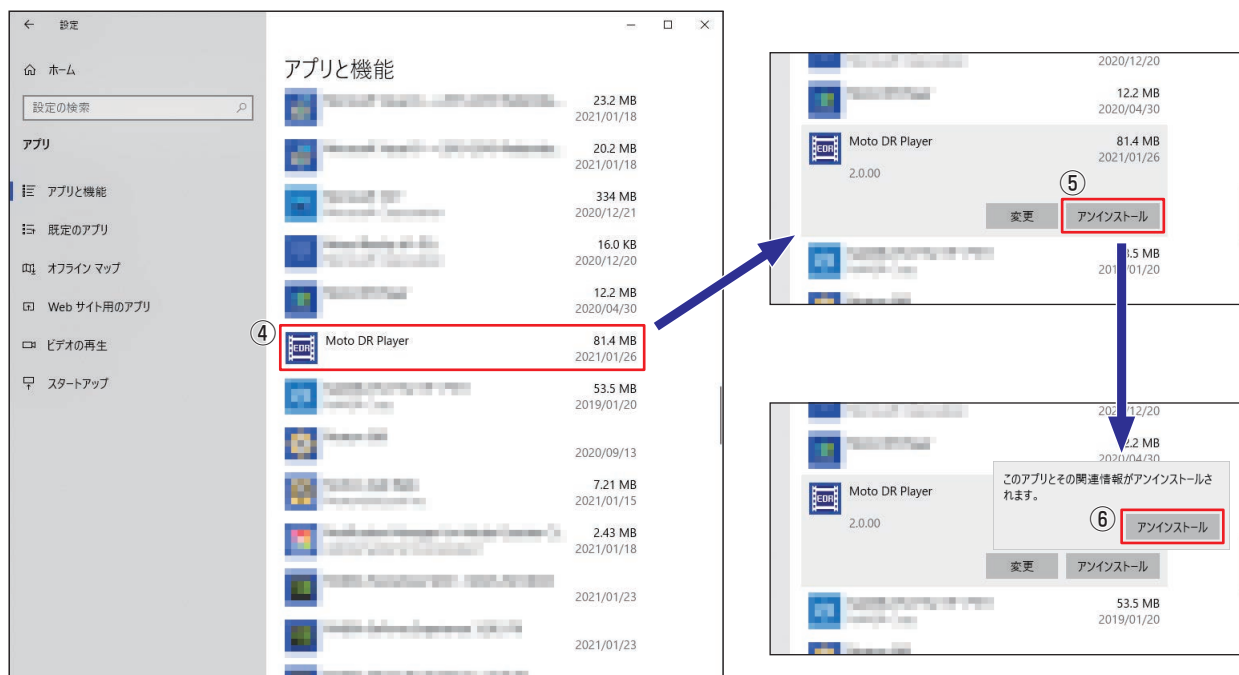
左側のアイコンにカーソルを合わせると名称が表示されます。



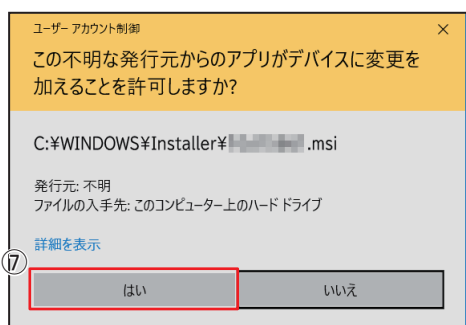
- ③ 設定画面から「アプリ」の項目をクリックします。



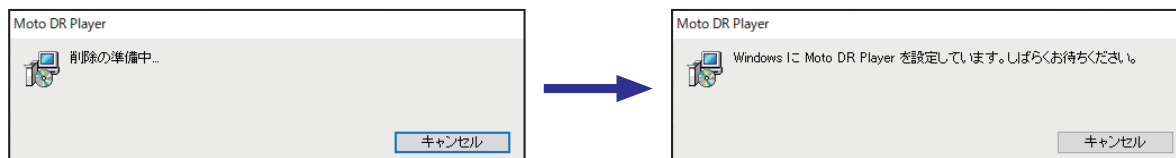
- ④ 「アプリと機能」画面の右側から「Moto DR Player」を探し、クリックします。
・「アプリと機能」画面になっていない場合は、左側の「アプリと機能」をクリックします。
- ⑤ 「Moto DR Player」をクリックすると、「アンインストール」のボタンが表示されますので、「アンインストール」ボタンをクリックします。
- ⑥ 「アンインストール」ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。続けて「アンインストール」ボタンをクリックします。



- ⑦ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「はい」をクリックします。



- ⑧ アンインストールが開始され画面が切り替わります。
アンインストール終了後、ウィンドウが自動で閉じます。



- ⑨ アンインストール終了後、「アプリと機能」画面の一覧から「Moto DR Player」の表示がないことを確認してください。

以上で「Moto DR Player」のアンインストール手順の説明は終わりです。

表示画面について

●ウィンドウの構成と名称

Moto DR Player 初期時のウィンドウ構成と、各部の名称について、説明します。

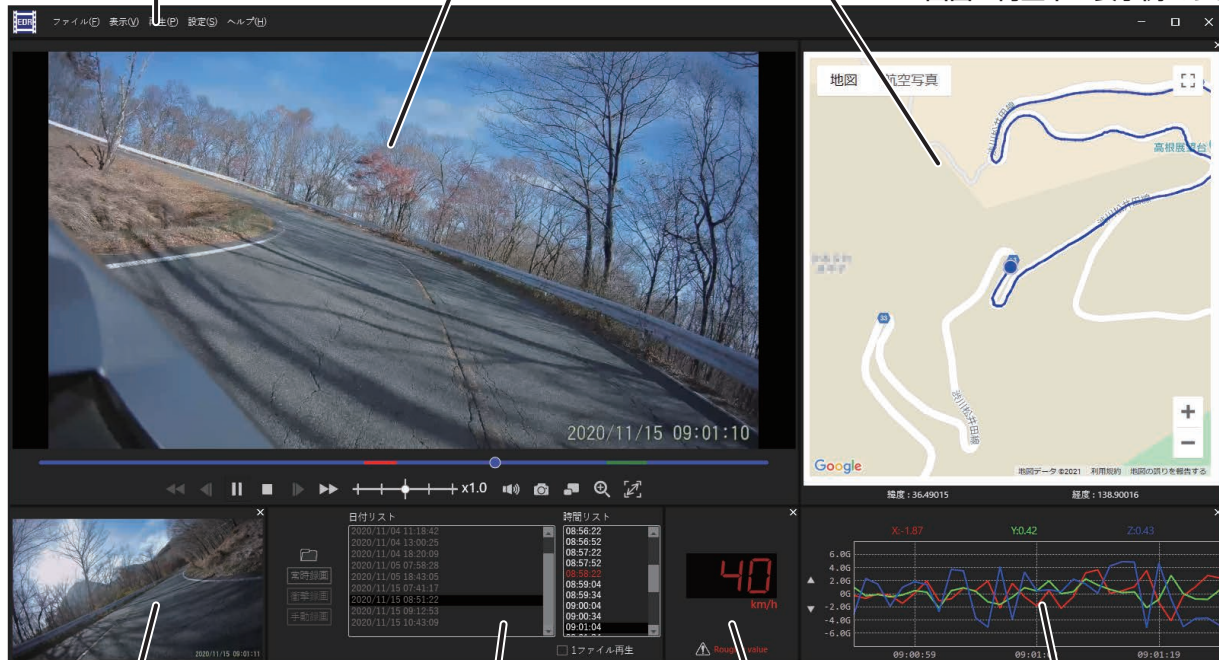
■ ウィンドウ構成と名称

① メニューバー

② メインビュー

③ 地図ウィンドウ

※画面は再生中の表示例です。



④ サブビューウィンドウ

⑤ ファイルリスト

⑥ 速度ウィンドウ

⑦ G グラフウィンドウ

No.	名 称	主 な 機 能	詳細説明 ページ
①	メニューバー	<ul style="list-style-type: none"> データフォルダ読み込み、各種保存操作のメニュー 各種表示の操作、設定のメニュー 再生の操作のメニュー EDR 本体の設定メニュー オンラインサポートページ、バージョン情報の表示メニュー ウィンドウの最小化、最大化、終了などの操作 	15 ページ
②	メインビュー	<ul style="list-style-type: none"> メイン(主)の再生画面 再生関連操作、再生画面のキャプチャ操作、再生画面操作 	19 ページ
③	地図ウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> 自転車位置と走行軌跡の地図表示 自転車位置の緯度経度の表示 	20 ページ
④	サブビューウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> サブ(副)の再生画面 	21 ページ
⑤	ファイルリスト	<ul style="list-style-type: none"> 読み込んだファイルのリスト表示 常時録画、衝撃録画、手動録画のリスト切り替え 	21 ページ
⑥	速度ウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> 走行速度の表示 	22 ページ
⑦	G グラフウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> X, Y, Zの G グラフ表示と表示範囲切り替え X, Y, Zの数値表示 	22 ページ

メニューバー

●メニューの操作方法

- ・メニューバーは、マウスカーソルで各項目をクリックすると、プルダウンで各メニュー内の項目を表示します。プルダウンで表示した項目をクリックすると、項目の選択または項目の実行が出来ます。
- ・キーボードによる操作の場合、[Alt]キーを押してフォーカスをメニューに移し、メニューの項目の末尾に記載されるアルファベット(例：「ファイル(F)」の場合は[F]キー)を押してメニューをプルダウンし、続けて末尾のアルファベットを押すか、カーソルキー[↑/↓]操作で移動、目的の項目に移動し[Enter]キーで実行または選択することが可能です。

「ファイル」にフォーカスが移っている状態



- ・メニュー内の項目にショートカットが設定されている場合は、ショートカットキーによる操作が出来ます。

ショートカットの例

データフォルダ読み込み(O)	Ctrl + O	[Ctrl]キー + [O]キー
録画ファイル連結保存(S)	Ctrl + Shift + S	[Ctrl]キー + [Shift]キー + [S]キー
再生/一時停止(P)	Space	[Space]キー

●メニューの構成と機能

メニューバーのメニュー構成と各機能について、説明します。

■メニューバーの構成と機能



①「ファイル」内のメニュー構成と機能説明

ファイルの読み込み、各種ファイルの保存、本ソフトウェアの終了操作のメニューです。

	ファイル(F)		操作可否条件			
			ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	データフォルダ読み込み(O)	Ctrl + O	○	○	○	○
(2)	録画ファイル連結保存(S)	Ctrl + Shift + S	×	○	○	○
(3)	GPSログファイル保存(L)		×	○	○	○
(4)	録画ファイルバックアップ(B)	Ctrl + Shift + B	×	○	○	○
(5)	終了(X)	Ctrl + Q	○	○	○	○

※操作出来ない項目は、文字がグレーアウトして表示されます。

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	データフォルダ読み込み	・ EDR で録画したファイルを読み込みます。 ファイルが格納されたフォルダを指定します。	24 ページ
(2)	録画ファイル連結保存	・ 読み込んだファイルから範囲を選択してシームレスな(つなぎ目のない)動画ファイルを保存します。	39 ページ
(3)	GPS ログファイル保存	・ 読み込んだファイルに含まれる GPS データから範囲を選択して GPS ログファイルを保存します。	44 ページ
(4)	録画ファイルバックアップ	・ 読み込んだファイルを指定のフォルダにバックアップします。	48 ページ
(5)	終了	・ Moto DR Player を終了します。	11 ページ

②「表示」内のメニュー構成と機能説明

再生画面の表示方法、各種ウィンドウの表示 / 非表示、機能画面の表示 / 非表示などの設定が出来ます。

表示(V)			操作可否条件			
			ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	メイン/サブ入れ替え	X	×	×	2cam : ○ 1cam : ×	2cam : ○ 1cam : ×
(2)	メインビューズーム	Z	×	×	○	○
(3)	メインビュー全画面表示	Ctrl + T	×	○	○	○
(4)	✓ サブビューウィンドウ(V)	Ctrl + Y	○	○	○	○
(5)	✓ 地図ウィンドウ(M)	Ctrl + M	○	○	○	○
(6)	✓ 速度ウィンドウ(S)	Ctrl + H	○	○	○	○
(7)	✓ Gグラフウィンドウ(U)	Ctrl + G	○	○	○	○
(8)	Gグラフオーバーレイ表示(R)	Ctrl + R	○	○	○	○
(9)	Gセンサー方向図(D)	Ctrl + D	○	○	○	○
(10)	ウィンドウ構成初期化(I)		○	○	○	○

※操作出来ない項目は、文字がグレーアウトして表示されます。

No.	メニュー名	機 能 説 明	関連ページ
(1)	メイン / サブ入れ替え	・メインビューとサブビューで表示している再生中の画面を入れ替えます。 ※サブビューウィンドウが非表示状態でも入れ替え出来ます。	32 ページ
(2)	メインビューズーム	・メインビューで表示している再生中の画面をズーム、ズームの解除をします。拡大倍率は約 1.5 倍です。 ※64bit 版のみ使用出来ます。32bit 版は使用出来ません。	31 ページ
(3)	メインビュー全画面表示	・メインビューで再生中の画面を表示している画面全体に拡大します。	33 ページ
(4)	サブビューウィンドウ	・サブビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	21 ページ
(5)	地図ウィンドウ	・地図ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	20 ページ
(6)	速度ウィンドウ	・速度ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	22 ページ
(7)	G グラフウィンドウ	・G グラフウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ・「✓」は表示状態、「✓」がない場合は非表示状態です。	22 ページ
(8)	G グラフオーバーレイ表示	・メインビュー全画面表示中に G グラフの表示 / 非表示を切り替えます。 ※G グラフは、再生画面に重ねて表示されます。	34 ページ
(9)	G センサー方向図	・EDR 本体の G 検知方向を表した図のウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。 ※G センサー方向図は、独立したウィンドウで表示します。	23 ページ
(10)	ウィンドウ構成初期化	・ウィンドウの表示やウィンドウの高さ、幅を初期の状態に戻します。	38 ページ

③「再生」内のメニュー構成と機能説明

ファイルの再生関連の操作、再生するファイルやリストの操作、画面キャプチャ操作のメニューです。

	再生(P)		操作可否条件			
			ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	再生/一時停止(P)	Space	×	○	○	○
(2)	停止(S)	Enter	×	×	○	○
(3)	再生速度(Y)	▶	×	○	○	○
(4)	コマ戻し	←	×	×	×	○
(5)	コマ送り	→	×	×	×	○
(6)	前のファイル	B	×	○ ※前のファイルがある場合	○	○
(7)	次のファイル	N	×	○ ※次のファイルがある場合	○	○
(8)	前の日付リスト	Ctrl + B	×	○ ※前の日付リストがある場合	×	×
(9)	次の日付リスト	Ctrl + N	×	○ ※次の日付リストがある場合	×	×
(10)	ミュート	M	×	○	○	○
(11)	画面キャプチャ	C	×	×	○	○

※操作出来ない項目は、文字がグレーアウトして表示されます。

再生速度の項目は、サブメニューになっています。操作可否条件は上記の「再生速度」の通りです。

再生速度(Y)	▶	速く(E) Ctrl + →
		標準(N) Ctrl + ↑
		遅く(S) Ctrl + ←

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	再生 / 一時停止	・ ファイルの再生、一時停止をします。	27 ページ
(2)	停止	・ ファイルの再生を停止します。	27 ページ
(3)	再生速度	・ ファイルの再生速度を変更します。 ・ x0.25 / x0.5 / x1.0 (標準) / x1.5 / x2.0 の5段階で再生速度を変更出来ます。「速く」で1段階速く、「遅く」で1段階遅く設定します。また「標準」で標準の再生速度に設定します。	29 ページ
(4)	コマ戻し	・ 表示している再生位置から1コマ(1フレーム)前の画像を表示します。	29 ページ
(5)	コマ送り	・ 表示している再生位置から1コマ(1フレーム)後の画像を表示します。	29 ページ
(6)	前のファイル	・ 再生しているファイルの1つ前のファイルを再生します。	28 ページ
(7)	次のファイル	・ 再生しているファイルの次の(後の)ファイルを再生します。	28 ページ
(8)	前の日付リスト	・ 選択している1つ前の日付リストを選択します。	26 ページ
(9)	次の日付リスト	・ 選択している次の(後の)日付リストを選択します。	26 ページ
(10)	ミュート	・ ファイル再生時の音声をミュート(消音)します。 ・ ミュート中は「✓」が項目の先頭に表示されます。 ・ ミュート中に選択すると、ミュートを解除します。	30 ページ
(11)	画面キャプチャ	・ メインビューに表示中の画像(静止画)を保存します。	30 ページ

④「設定」内のメニュー構成と機能説明

EDR 本体の録音、録画設定を変更する画面を表示させることができます。

	設定(S)	操作可否条件			
		ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	本体録音/録画設定(S)	○	○	○	○

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	本体録音 / 録画設定	・ EDR 本体の録音 / 録画設定を変更する画面を表示します。	50 ページ

⑤「ヘルプ」内のメニュー構成と機能説明

オンラインのサポートページや本ソフトウェアのバージョンを表示させることができます。

	ヘルプ(H)	操作可否条件			
		ファイル読み込み無し	再生停止中	再生中	再生一時停止中
(1)	オンラインサポートページ(H) F1	○	○	○	○
(2)	バージョン情報(V)	○	○	○	○

No.	メニュー名	機能説明	詳細説明ページ
(1)	オンラインサポートページ	・ EDR シリーズや本ソフトウェア、スマホアプリに関するサポートページ(WEB サイト)を表示します。	57 ページ
(2)	バージョン情報	・ 本ソフトウェアのバージョンを表示します。	58 ページ

●ウィンドウ操作ボタン

メニューバーのウィンドウ操作ボタンの名称と機能について、説明します。

■ウィンドウ操作ボタンの構成と機能

通常画面表示時のアイコン表示



最大化表示時のアイコン表示



①「最小化」ボタン

本ソフトウェアをタスクバーの格納します。本ソフトウェアは、バックグラウンドで動作を継続します。

②「最大化」ボタン

本ソフトウェアのウィンドウを表示されている画面全体に広げて表示します。

③「終了」ボタン

本ソフトウェアを終了します。詳細は、「Moto DR Player を終了する」(11 ページ)を参照してください。

④「元に戻す」ボタン

「最大化」状態から、「最大化」状態にする前のウィンドウサイズに戻します。

■ メインビューと再生ツール

●メインビューの機能と構成

メインビューは、メインの再生画面、再生ツール、シークバーで構成され、再生関連の操作は、このメインビューからおこなうことができます。

■メインビューの構成



●再生ツールと機能

メインビューに配置されている再生ツールを操作することで、録画ファイルの再生や目的のシーンを探したり、録画時の状況の確認が簡単に出来ます。

ツールアイコン※1	名 称	機 能 説 明	詳細説明 ページ
	再生 / 一時停止	・ 録画ファイルを再生、一時停止をします。 ・ 再生と一時停止のツールが状態により切り替わります。	27 ページ
	停止	・ 録画ファイル再生を停止します	27 ページ
	前のファイル	・ 再生しているファイルの1つ前のファイルを再生します。 ※ 前のファイルが無い場合は、操作出来ません。	28 ページ
	次のファイル	・ 再生しているファイルの次の(後の)ファイルを再生します。 ※ 次のファイルが無い場合は、操作出来ません。	28 ページ
	コマ戻し	・ 表示している再生位置から1コマ(1フレーム)前の画像を表示します。 ※ 一時停止中のみ操作出来ます。	29 ページ
	コマ送り	・ 表示している再生位置から1コマ(1フレーム)後の画像を表示します。 ※ 一時停止中のみ操作出来ます。	29 ページ
	再生速度	・ ファイルの再生速度を変更します。 ・ x0.25 / x0.5 / x1.0(標準) / x1.5 / x2.0 の5段階で再生速度を変更出来ます。	29 ページ
	ミュート/ミュート解除	・ ファイル再生時の音声をミュート (消音) / ミュートの解除をします。	30 ページ
	画面キャプチャ	・ メインビューに表示中の画像(静止画)を保存します。	30 ページ
	メイン/サブ入れ替え	・ メインビューとサブビューで表示している再生中の画面を入れ替えます。(2 カメラモデルのみ) ※ サブビューウィンドウが非表示状態でも入れ替え出来ます。	32 ページ
	メインビューズーム / ズームの解除※2	・ メインビューで表示している再生中の画面をズーム、ズームの解除をします。拡大倍率は約 1.5 倍です。	31 ページ
	全画面表示 / 全画面表示の解除	・ メインビューで再生中の画面を表示している画面全体に拡大します。	33 ページ

※1. 操作出来ない項目は、文字がグレースアウトして表示されます。 ※2. 64bit 版のみ使用出来ます。32bit 版では使用出来ません。

■ 地図ウィンドウ ※GPS 搭載モデルのみ

● 地図ウィンドウの構成と機能

地図ウィンドウは、録画ファイルの再生に合わせ、記録された GPS 位置情報をもとに自車位置と走行軌跡を表示します。

また地図に表示されているツールを使用して、地図の表示を変更することが出来ます。

注 意

- ・ 地図の情報および地図の機能は、Google マップのサービスを使用しています。そのため、地図の内容や機能など予告なく変更されることがあります。
- ・ 記録された GPS 情報の誤差や実際の道路状況と地図情報との相違（道路の拡幅や道路開通など）、地図情報の更新などにより、地図上の道路表示から逸脱することがあります。

■ 地図ウィンドウの構成



「緯度」を表示します

「経度」を表示します

■ 地図ウィンドウのツール(Google マップの機能)

地図

- ・ 標準の地図を表示します。

□地形

- ・ 地形を表した地図を表示します。
- ・ 「地図」の上にカーソルを合わせるか、「地図」をクリックすると表示されます。

航空写真

- ・ 航空写真を表示します。

□ラベル

- ・ 航空写真表示に地名や施設名などのラベルを表示します。
- ・ 「航空写真」の上にカーソルを合わせるか、「航空写真」をクリックすると表示されます。

+

-

- ・ 地図の縮尺を変更します。
- ・ 「+」で拡大し、「-」で縮小します。

■ サブビューウィンドウ ※2 カメラモデルのみ

●サブビューウィンドウの機能

サブビューウィンドウは、サブの再生画面です。2 カメラモデルの録画ファイルを再生するときにメインビューとリンクする録画ファイルを再生します。

■ サブビューウィンドウの構成



再生画面

- ・サブビューの再生画面は、メインビューの再生操作に連動します。単独での再生操作は出来ません。
- ・メインビューでフロントカメラのファイルを再生しているときは、サブビューウィンドウでリアカメラのファイルを再生。メインビューでリアカメラのファイルを再生しているときは、サブビューウィンドウでフロントカメラのファイルを再生します。

■ ファイルリスト

●ファイルリストの機能と構成

ファイルリストは、録画ファイルの読み込みや再生するファイルを選択する画面です。ファイルを選択して再生すると、時間リストに再生中のファイルが選択されます。再生の進行状況に合わせファイルの選択も移動し、どのファイルが再生されているか確認出来ます。

■ ファイルリストの構成



- ① フォルダアイコン：ファイルの読み込み画面を開きます。
- ② 常時録画：常時録画ファイル、衝撃録画ファイル、手動録画ファイルを含むリストが表示されます。一連の録画ファイルの録画シーンを確認するときなどに選択します。
- ③ 衝撃録画：衝撃録画ファイルのリストが表示されます。衝撃を感知してイベント録画した衝撃録画ファイルをすぐに確認するときを選択します。
- ④ 手動録画：手動録画ファイルのリストが表示されます。手動でイベント録画した手動録画ファイルをすぐに確認するときを選択します。
- ⑤ 日付リスト：録画を開始(IG ON)した日時を表示したリストです。選択すると時間リストが更新されます。
- ⑥ 時間リスト：録画されたファイルの時刻を表示したリストです。選択して再生することが出来ます。再生中のファイルに合わせ時間リストの選択状態が移動します。
- ⑦ 1ファイル再生：チェックボックスにチェックを入れ時間リストのファイルを選択すると、選択した1ファイルのみを再生します。

■ 速度ウィンドウ ※GPS 搭載モデルのみ対応

● 速度ウィンドウ構成と機能

速度ウィンドウは、録画ファイルに記録された GPS 位置情報から演算し、自車のおおまかな走行速度を表示します。

注 意

- 記録された GPS 情報の誤差や GPS 信号を受信出来ない状況が発生した場合、速度表示出来なかったり、実際の走行速度と大きく異なる速度を表示することがあります。

■ 速度ウィンドウ



速度は「km/h」で表示します。
「mph」による表示は出来ません。

■ G グラフウィンドウ

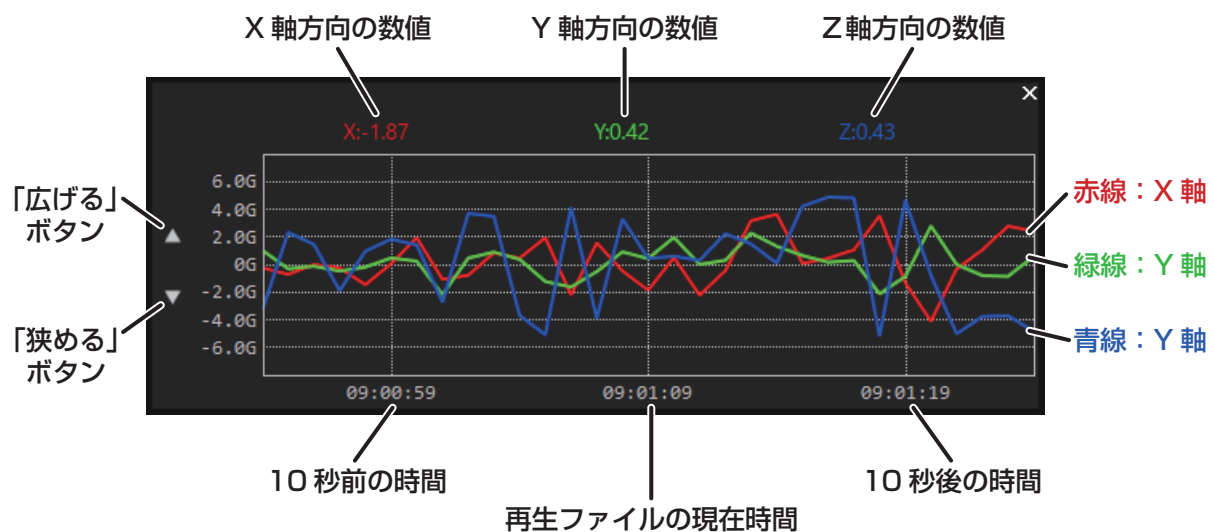
● G グラフウィンドウの機能と構成

G グラフウィンドウは、録画ファイルの再生に合わせ、記録された G センサーの情報をもとに数値とグラフで表示します。

注 意

- EDR 本体の衝撃検知感度の設定が「OFF」で録画されたファイルの場合、G センサーの情報が記録されないため、グラフおよび数値による表示が出来ません。

■ G グラフウィンドウの構成



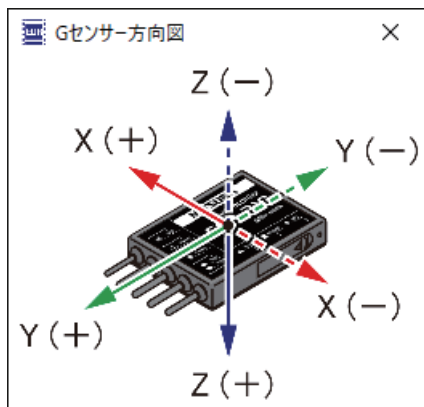
- 数値およびグラフは、1 秒毎に更新されます。
- グラフの G(縦軸)の範囲は、「広げる」ボタン(▲)、「狭める」ボタン(▼)により 4 段階で調整可能です。

● G センサー方向図

G グラフウィンドウに表示される G の向きと、正負の方向を EDR 本体で表示します。

- ・「G センサー方向図」は、メニューの「表示」から「G センサー方向図」(16 ページ)を選択するか、[Ctrl] + [D] のショートカットキー操作で、表示することが出来ます。

■ G センサー方向図



- ・「G センサー方向図」を閉じるときは、「G センサー方向図」右上の「×」(閉じる) ボタンをクリックするか、[Ctrl] + [D] のショートカットキー操作で閉じることが出来ます。

■ ファイルを読み込む

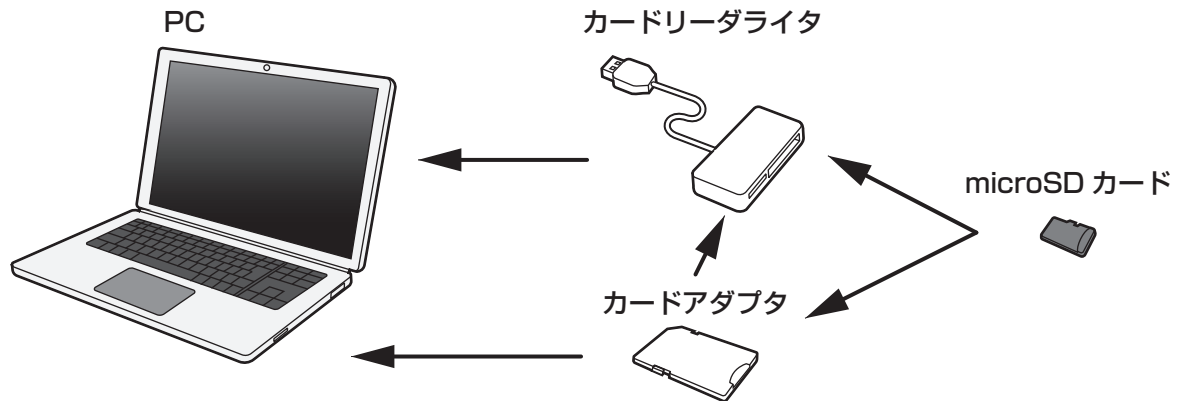
● EDR の録画ファイルを読み込む

1. microSD カードのファイルを読み込む場合は、microSD カードを PC に接続します。

注 意

- ・必ず、使用する microSD カードの規格に適合した機器を使用してください。microSD カードを正しく認識出来なかったり、ファイルを正しく認識出来ません。
- ・使用する PC やカードリーダーライターの取扱説明書に従い接続してください。microSD カードの破損、ファイルの消失や破損、機器の故障の原因となります。

■ 接続方法の例



2. データフォルダの読み込み画面を表示します。

- ・読み込み画面の表示方法は、3通りあります。

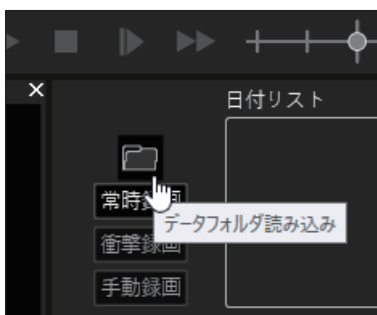
I. メニューバーの「ファイル」から「データフォルダ読み込み」をクリックし表示する。



II. ショートカットキー [Ctrl] + [O] で表示する。



III. ファイルリストのフォルダアイコンをクリックする。

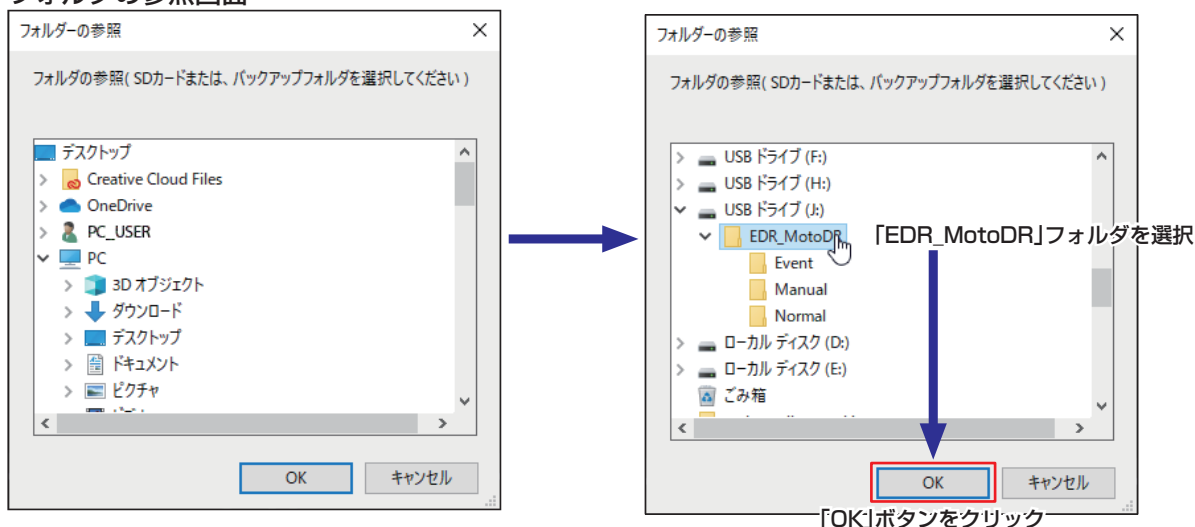


3.「フォルダの参照」画面が表示されたら、「EDR_MotoDR」フォルダ※¹ または PC などへバックアップしたフォルダ※² を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

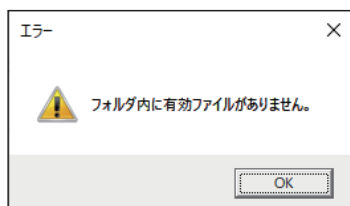
※1. EDR 本体が microSD カード内に作成するフォルダ名です。

※2. 読み込み可能なフォルダの構成は、「バックアップファイルの注意事項」(5 ページ)を確認してください。

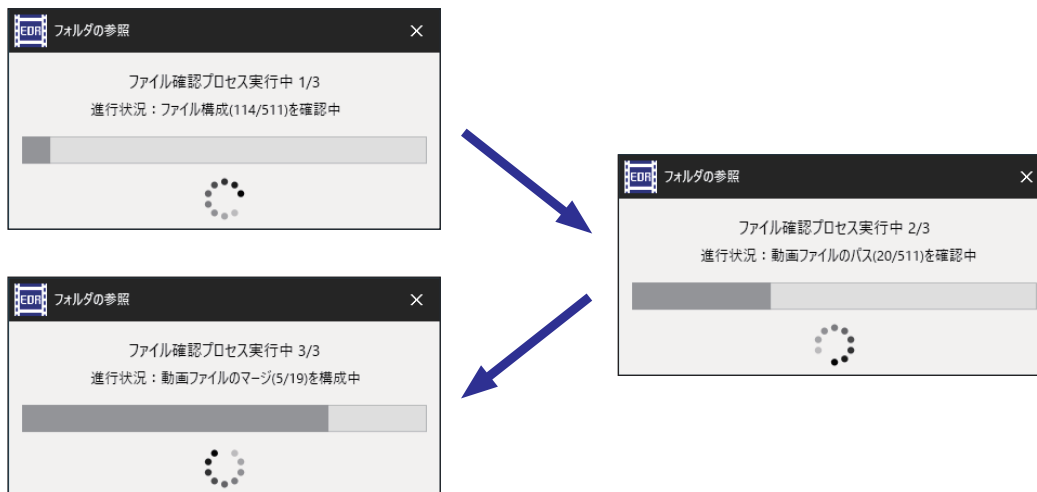
フォルダの参照画面



- 適切なフォルダが指定されていない場合は、エラーが表示されます。
この場合、手順 1 から操作をやり直し、正しいフォルダを選択してください。

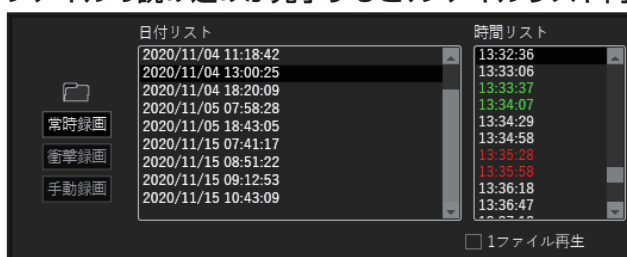


4. ファイルの読み込み処理中は、下記の画面が表示されます。



※ 読み込むファイル数が多い場合や PC の環境(性能)によって、読み込みが完了するまで時間が掛かることがあります。

5. ファイルの読み込みが完了すると、ファイルリスト内にリストが表示されます。



■ ファイルリストの操作

● ファイルリストの構成

ファイルリストは、ファイルの読み込み操作、再生する録画ファイルの日付リストおよび時間リスト（ファイル）の選択、1ファイル再生の選択 / 解除の操作をおこなうことが出来ます。

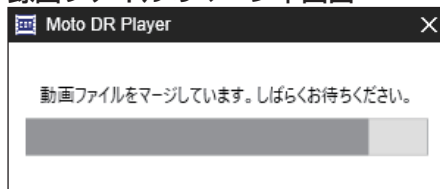


● ファイルリストの操作

1. 再生する録画ファイルの種類を選択します。
 - ・「常時録画」は、通常の録画ファイルと「衝撃録画」や「手動録画」のイベントファイルも含まれます。
2. 「日付リスト」から再生する録画開始日時を選択します。
 - ・リストの順序は、昇順(古い日時から新しい日時の順)で表示されます。

※ ファイル再生中は、「日付リスト」の選択は出来ません。
3. 再生する録画開始日時を選択すると、動画ファイルのマージ(結合)がおこなわれ、「時間リスト」の内容の更新と再生準備が完了します。

録画ファイルのマージ中画面



4. 「時間リスト」の先頭から再生する場合は、「メインビュー」の再生ツールから再生ボタンをクリックしてください。また「時間リスト」の先頭のファイル(時間)をダブルクリックすることで再生することが出来ます。
5. 「時間リスト」からファイル(時間)を選択して再生する場合は、目的のファイル(時間)を選択して「メインビュー」の再生ツールから再生ボタンをクリックしてください。また目的のファイル(時間)をダブルクリックすることで再生することが出来ます。
 - ・再生されるファイル(時間)に合わせてリストが自動でスクロールします。
6. 目的の「時間リスト」からファイル(時間)を1つだけ再生したい場合は、「1ファイル再生」のチェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。選択したファイルのみを再生します。
 - ※ 「1ファイル再生」にチェックを入れている場合、「メインビュー」のシークバーでは、選択したファイルの範囲のみポイントが移動します。
 - ※ 「1ファイル再生」中でも、「時間リスト」や「メインビュー」の再生ツール、シークバー操作で再生するファイル(時間)を変更することが出来ます。再生ファイルを変更しても、再生中のファイル再生が終了した時点で、再生を停止します。

■ 基本的な再生操作

●メインビューの構成

メインビューは、ファイルの再生画面、再生ツール、シークバーで構成されています。再生関連の操作は、このメインビュー画面でおこなうことができます。

メインビュー 録画ファイルの再生画面(一時停止中)






再生操作

●ファイルの再生 / 一時停止 / 停止




■再生操作

録画ファイルの映像を再生するときの操作です。

- ・再生ツールの再生  をクリックすると、録画ファイルが再生されます。
 - ・再生中は、ツールの再生  が一時停止  に変わります。
- キーボードの[Space]キー操作でも、再生が出来ます。

■一時停止操作


再生を一時的に停止したり、確認したい場面の静止画を見る際や「コマ送り」/「コマ戻し」操作をおこなうときの操作です。

- ・再生ツールの一時停止  をクリックすると、再生を一時停止します。
 - ・一時停止中は、ツールの一時停止  が再生  に変わります。
- キーボードの[Space]キー操作でも、一時停止が出来ます。

■停止操作

再生を中断したり、別の日付リストを選択するときの操作です。

また停止操作で再生ツールなどの状態(ミュートを除く)をリセットすることが出来ます。



- ・再生ツールの停止  をクリックすると、再生や一時停止から停止状態になります。
- キーボードの[Enter]キー操作でも、停止が出来ます。
- ・停止すると、各ウィンドウ(メインビュー、サブビュー、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウ)の表示や設定がリセットされます。

●再生するファイルを切り替える

再生ツールやシークバー、ポインタを操作することで、確認したい場面のファイルを探すことができます。

■前のファイル / 次のファイル

再生中の録画ファイルの1つ前、1つ後の映像を再生するときの操作です。
連続して操作することで、操作した回数分のファイルへ移ることが出来ます。

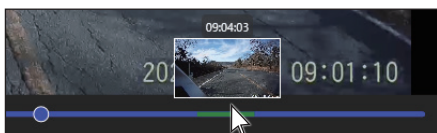
- 再生ツールの前のファイル  を1回クリックすると、1つ前の録画ファイルが再生されます。
キーボードの[B]キー操作でも、前のファイルの再生が出来ます。
- 再生ツールの次のファイル  を1回クリックすると、1つ後の録画ファイルが再生されます。
キーボードの[N]キー操作でも、次のファイルの再生が出来ます。

■シークバーのプレビューから場面を探す

シークバーにカーソルを重ね、表示されるプレビューから確認したい場面を探すことができます。

- シークバー上にカーソルを重ねると、その場面のプレビューが表示されます。カーソルを移動し、確認したい場面のところで、マウスをクリックするとその場面から再生されます。

プレビュー表示



■シークバーのポインタを動かして場面を探す

シークバーのポインタを動かし、メインビューやサブビューに表示される映像から確認したい場面を探すことができます。

- シークバーのポインタをドラッグすると再生が一時停止します。ポインタをドラッグしたままシークバー上を移動させると、その場面の映像がメインビュー、サブビューに表示されます。確認したい画面でポインタを開放すると、その場面から再生が始まります。
- 再生ファイルの種類によって、シークバーの色を分けて表示しています。

青：通常録画 / 赤：衝撃録画 / 緑：手動録画

ポインタ操作中画面



青：通常録画

赤：衝撃録画

緑：手動録画





■ コマ送り / コマ戻し

● コマ送り / コマ戻し再生

コマ送りやコマ戻し操作することで、確認したい場面を1コマ(1フレーム)毎に見ることが出来ます。メインビュー、サブビューの画面が連動してコマ送り、コマ戻しされます。

■ コマ送り / コマ戻し

一時停止した場面のコマ(フレーム)の1つ後、1つ前を表示させるときの操作です。

- ・ ファイル再生中に再生ツールの一時停止  をクリックして、再生を一時停止します。
キーボードの[Space]キー操作でも、一時停止が出来ます。
- ・ 一時停止中に再生ツールのコマ送り  をクリックすると、1つ後のコマ(フレーム)が表示されます。
キーボードの[→](右カーソル)キー操作でも、コマ送りが出来ます。
- ・ 一時停止中に再生ツールのコマ戻し  をクリックして、1つ前のコマ(フレーム)が表示されます。
キーボードの[←](左カーソル)キー操作でも、コマ戻しが出来ます。
- ・ 再生を再開する場合は、再生ツールの再生  をクリックして再生を再開します。
キーボードの[Space]キー操作でも、再生が出来ます。




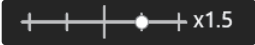
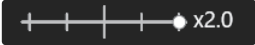

■ 再生速度を変更する

● 再生速度を遅くする、速くする、標準に戻す

再生速度を変更することで、確認したい場面をゆっくり再生したり、確認したい場面まで速く再生することが出来ます。

■ 再生速度変更

再生速度を5段階で変更することが出来ます。(標準は x1.0 です)

- ・ 再生ツールの速度変更  の「●」を移動して変更します。
- ・ 再生速度を遅くする場合は、「●」を左側へ移動します。
 で 0.5 倍速、 で 0.25 倍速で再生します。
キーボードの[Ctrl] + [←](左カーソル)キー操作でも、再生速度を遅くする操作が出来ます。
- ・ 再生速度を速くする場合は、「●」を右側へ移動します。
 で 1.5 倍速、 で 2.0 倍速で再生します。
キーボードの[Ctrl] + [→](右カーソル)キー操作でも、再生速度を速くする操作が出来ます。
- ・ 再生速度を標準に戻す場合は、「●」を中央  へ移動します。
キーボードの[Ctrl] + [↑](上カーソル)キー操作でも、再生速度を標準に戻す操作が出来ます。





■ 再生時の音声をミュートする ※音声記録 ON のファイルのみ

●再生時の音声ミュート

録画ファイル再生中の音声をミュート(消音)することが出来ます。

■ミュート / ミュート解除

録画ファイル再生時の音声をミュート / ミュート解除します。

- ・再生ツールのミュート  をクリックすると、再生時の音声がミュートします。
キーボードの[M]キー操作でも、ミュートが出来ます。
- ・ミュート中は、ツールのミュート  がミュートの解除  に変わります。
- ・再生ツールのミュートの解除  をクリックすると、音声のミュートを解除します。
キーボードの[M]キー操作でも、ミュートの解除が出来ます。


■ 静止画を撮影する

●メインビュー再生画面のキャプチャ

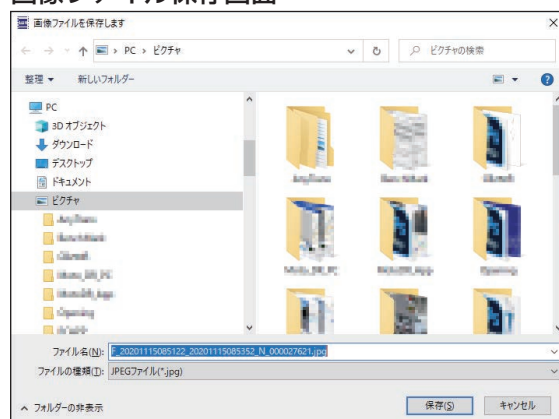
メインビューで再生中の画面を静止画(JPEG 形式)で保存することが出来ます。

■画面キャプチャ

キャプチャ操作したときのメインビューの1コマ(1フレーム)を JPEG 形式で保存します。
保存される解像度は録画時の解像度となります。

- ・再生中、一時停止中に再生ツールの画面キャプチャ  をクリックすると、画像ファイル保存画面が表示されます。再生中に画面キャプチャした場合は、再生が一時停止します。
キーボードの[C]キー操作でも、画面キャプチャが出来ます。

画像ファイル保存画面



- ・保存またはキャンセルすると、もとの画面に戻ります。再生中の場合は、再生が再開します。




■ ズーム機能を使う ※32bit 版では使用出来ません。

●ズーム機能を使い画像の詳細を確認する

ズーム機能を使うことで、メインビューの画面を約 1.5 倍に拡大して表示することが出来ます。またズームした画像の表示範囲をドラッグすることで画像を移動し、拡大したい部分の中心を調整することが出来ます。

■メインビューズーム

メインビューに表示されている画像をズームします。
「メイン / サブ入れ替え」、「停止」をするとズームが解除されます。



- ・再生ツールのメインビューズーム  をクリックすると、メインビュー画面をズームします。
キーボードの[Z]キー操作でも、メインビューズームが出来ます。
- ・ズーム中は、ツールのメインビューズーム  がズームの解除  に変わります。

メインビューズーム前

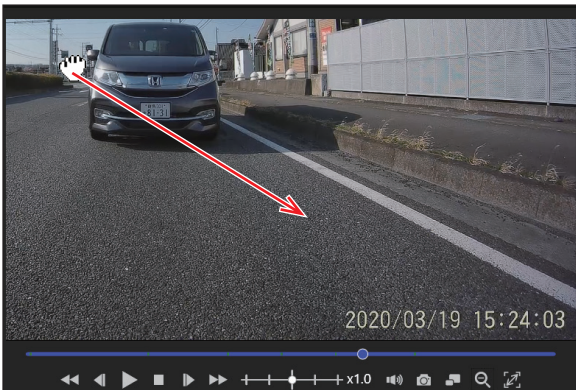



メインビューズーム中



- ・メインビューズーム中、メインビューにカーソルを重ねると、カーソルが  に変わります。
メインビュー上でドラッグするとカーソルが  に変わり、そのままマウスを動かすとズームした画像を移動出来ます。

ドラッグして画像を移動



- ・ズームを解除するときは、ズームの解除  をクリックします。
キーボードの[Z]キー操作でも、メインビューズーム解除が出来ます。

■ メインビューとサブビューの画面を入れ替える※

●メインビューとサブビューの画面入れ替え

メインビューとサブビューの画面表示を入れ替え、サブビューに表示されていた画面をメインビューに表示することで、画面キャプチャやメインビューズーム、全画面表示などの機能を使用することが出来るようになります。


※ 2 カメラモデルのみ。

■メイン / サブ入れ替え

メインビュー、サブビューで表示されている画像を入れ替えて表示するときの操作です。

メインビューで「ズーム」を使用している場合は、「ズーム」は解除されます。

「停止」操作すると、「メイン / サブ入れ替え」は解除されます。

- ・ ファイル再生中または一時停止中に再生ツールのメイン / サブ入れ替え  をクリックして、メインビューとサブビューの画面を入れ替えます。


キーボードの[X]キー操作でも、メイン / サブ入れ替えが出来ます。

メイン / サブ入れ替え前



メイン / サブ入れ替え後



- ・ メイン / サブ入れ替え中に再生ツールのメイン / サブ入れ替え  をクリックすると、再びメインビューとサブビューの画面が入れ替わります。

キーボードの[X]キー操作でも、メイン / サブ入れ替えが出来ます。


■ 全画面表示で再生する

●メインビューを全画面で表示する

メインビューの画面を全画面表示することで、録画ファイルを再生しているモニタに最大限拡大して再生させることができます。

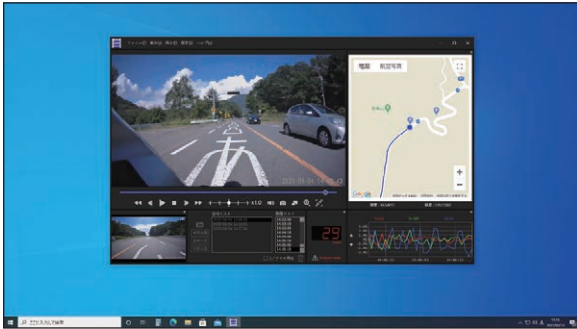
■メインビュー全画面表示

メインビューの画面を全画面で表示します。

- 再生ツールのメインビュー全画面表示  をクリックすると、メインビューが全画面で表示されます。

キーボードの[Ctrl] + [T]キー操作でも、メインビュー全画面表示が出来ます。

通常画面表示



メインビュー全画面表示



■シークバーと再生ツール

全画面表示中のシークバーと再生ツールは、通常表示のときと同じように操作することが出来ます。



■シークバー、再生ツール、カーソルの自動非表示と再表示

全画面表示のとき、下記条件でシークバー、再生ツール、カーソルを自動的に非表示 / 再表示させることが出来ます。

- カーソルが、シークバーと再生ツールの範囲外にあるとき、約 5 秒経過すると自動的にシークバーと再生ツールを非表示にします。
- カーソルをシークバーと再生ツールの範囲内に動かすと、自動的にシークバーと再生ツールが再表示されます。
- カーソルが、シークバーと再生ツールの範囲外にあるときにカーソルを約 5 秒間操作しなかった場合、自動的にカーソルを非表示にします。
- カーソルを動かすと、自動的にカーソルが再表示されます。

シークバー、再生ツール表示状態



シークバー、再生ツール非表示状態



■全画面表示から通常画面に戻る

メインビュー全画面表示の状態を解除し、通常の画面に戻ります。

- 再生ツールの全画面表示の解除  をクリックすると、全画面表示が解除され通常の画面に戻ります。

キーボードの[Ctrl] + [T]キー操作でも、全画面表示が解除が出来ます。

■ 全画面表示状態でGグラフの表示/非表示を切り替える

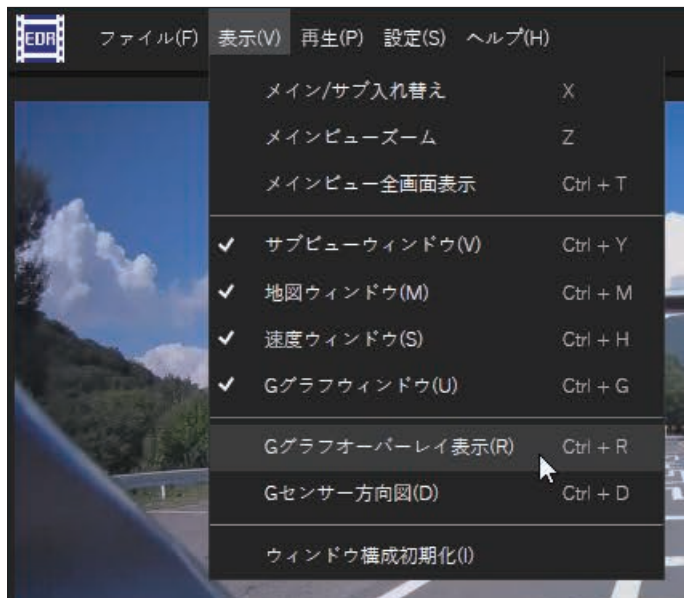
● 全画面表示状態で G グラフを表示 / 非表示する

全画面表示中に G グラフを重ねて表示することで、走行場面で発生した G の変化を確認することが出来ます。

■ G グラフオーバーレイ表示 / 非表示

全画面表示状態で G グラフを表示 / 非表示させる方法は、下記の2通りあります。

I. 通常画面のメニューバーから「表示」→「G グラフオーバーレイ表示」を選択する。



・ 項目の左に「✓」がある場合は、G グラフは表示され、「✓」がない場合は、G グラフは非表示となります。

II. ショートカットキー [Ctrl] + [R] で、表示 / 非表示を切り替える。

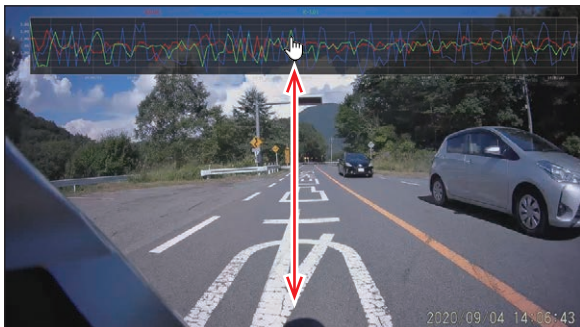
★全画面表示中のときは、こちらの操作が便利です。



G グラフオーバーレイ表示



★ G グラフをドラッグすることで、G グラフを上下に移動することが出来ます。



■ ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える

● ウィンドウの表示 / 表示切り替えについて

お好みによって、ウィンドウを表示 / 非表示することが出来ます。(一部ウィンドウ除く)
EDR のモデルや視聴に合わせ、変更してください。

■ 表示と非表示が可能なウィンドウ

表示と非表示が可能なウィンドウは下記の通りです。

- ・サブビューウィンドウ
- ・地図ウィンドウ
- ・速度ウィンドウ
- ・G グラフウィンドウ

※ ウィンドウの名称については、「ウィンドウの構成と名称」(14 ページ) を参照してください。

● ウィンドウの表示 / 非表示切り替え方法

表示 / 非表示切り替え方法について、説明します。

■ 表示 / 非表示の切り替え方法

表示 / 非表示を切り替える方法は、下記の 2 通りあります。

I. メニューバーから、各ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える。

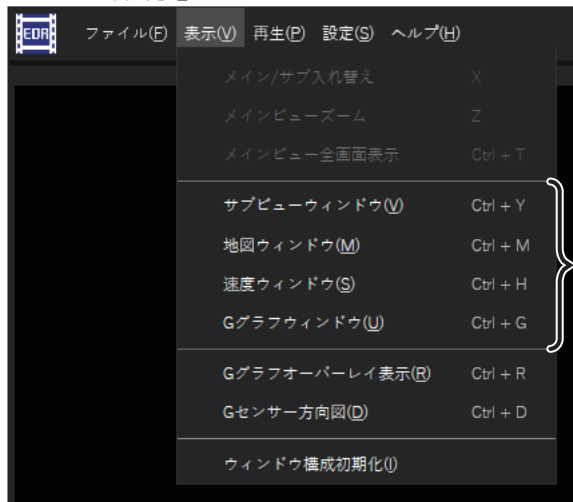
サブビューウィンドウ：「表示」→「サブビューウィンドウ」

地図ウィンドウ：「表示」→「地図ウィンドウ」

速度ウィンドウ：「表示」→「速度ウィンドウ」

G グラフウィンドウ：「表示」→「G グラフウィンドウ」

メニュー「表示」



- ・ 項目の左に「✓」がある場合は、ウィンドウは表示され、「✓」がない場合は、ウィンドウは非表示となります。

II. ショートカットキー操作で、表示 / 非表示を切り替える。

サブビューウィンドウ：[Ctrl] + [Y]



地図ウィンドウ：[Ctrl] + [M]



速度ウィンドウ：[Ctrl] + [H]



G グラフウィンドウ：[Ctrl] + [G]



●ウィンドウの簡単な非表示方法

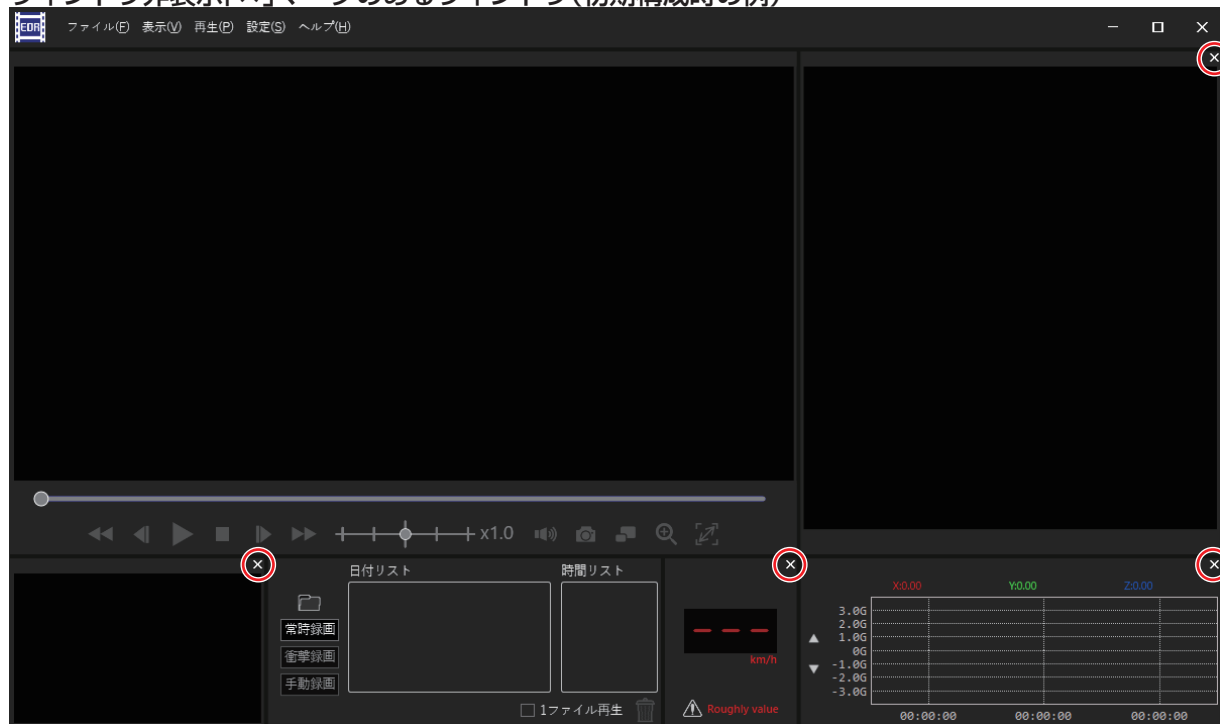
簡単にウィンドウを非表示にする操作方法について、説明します。

■非表示にする方法

各ウィンドウの右上の「×」をクリックして、非表示にする。

- ・各ウィンドウの右上に「×」マークがあるウィンドウは、「×」をクリックすることで、ウィンドウを非表示にすることが出来ます。

ウィンドウ非表示「×」マークのあるウィンドウ(初期構成時の例)



●ウィンドウの再表示方法

非表示にしたウィンドウを再表示させる方法は、「ウィンドウの表示 / 非表示切り替え方法」(35 ページ)を参照してください。

■ ウィンドウの幅、高さを調整する

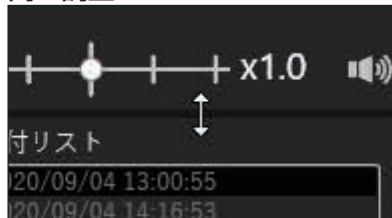
● ウィンドウの幅、高さの調整

お好みによってウィンドウの幅や高さを調整することが出来ます。

■ ウィンドウの幅、高さの調整方法

ウィンドウの境界、外側の縁や角にカーソルを合わせると、カーソルが両矢印「 \longleftrightarrow 」に変わります。両矢印のカーソル「 \longleftrightarrow 」に変わったところでドラッグすると、ウィンドウの幅や高さが調整出来ます。

高さ調整



幅調整



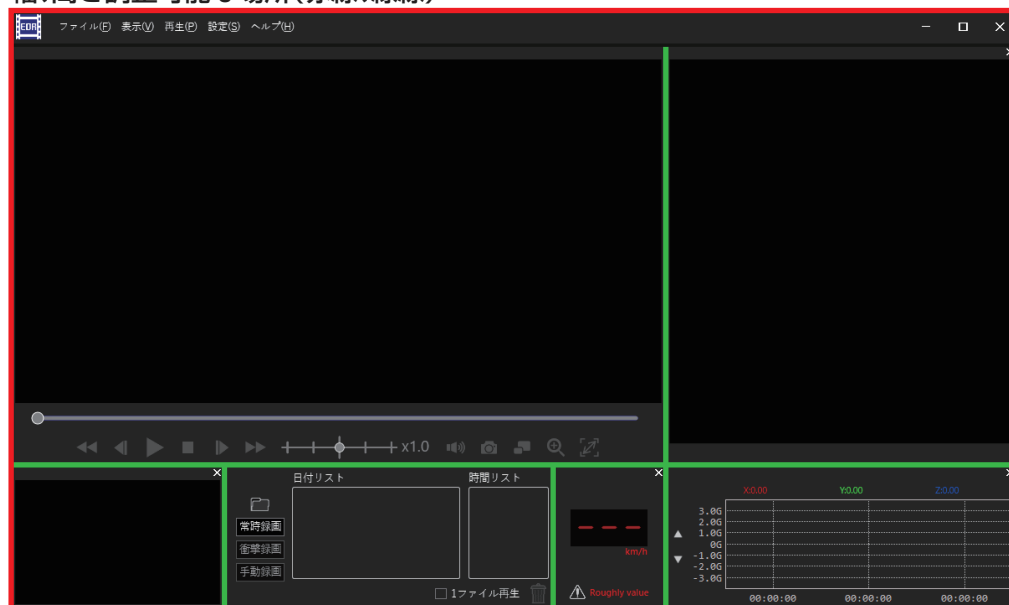
高さ幅調整



■ ウィンドウ調整の可能な部分

ウィンドウが通常表示の状態では、下記の赤線および緑線の部分で幅、高さの調整が可能です。ウィンドウが最大表示されている場合は、緑線の部分のみ調整が可能です。

幅、高さ調整可能な場所(赤線、緑線)



調整前(例)



高さ、幅、調整後(例)



■ ウィンドウ構成を初期の状態に戻す

● ウィンドウ構成の初期化について

非表示したウィンドウや幅、高さを調整したウィンドウの構成を初期状態に戻すことができます

■ ウィンドウ構成の初期化により変更される項目

ウィンドウ構成の初期化により変更される項目は、下記の通りです。

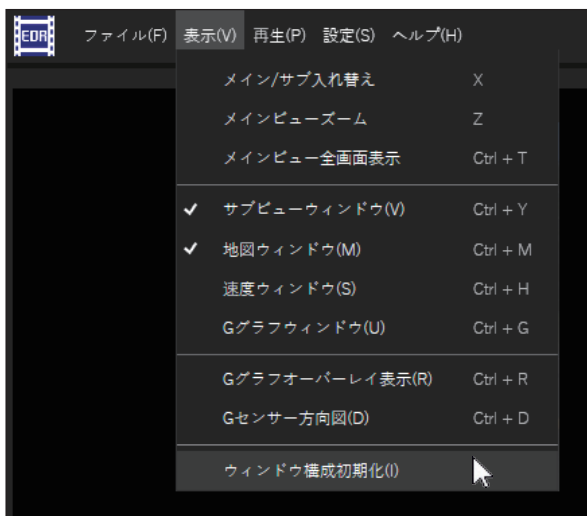
- ・ ウィンドウ全体のサイズをモニタ解像度に合わせて変更
- ・ サブビューウィンドウ、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウを表示
- ・ すべてのウィンドウの幅、高さを規定の比率で表示

● ウィンドウ構成の初期化方法

ウィンドウ構成の初期化方法を説明します。

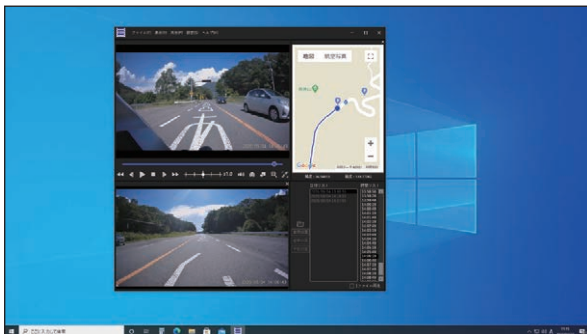
■ ウィンドウ構成の初期化方法

メニューバーの「表示」から「ウィンドウ構成の初期化」を選択します。

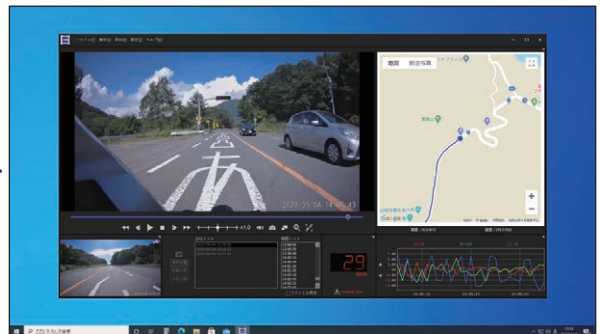


「ウィンドウ構成の初期化」を実行すると、ウィンドウ構成が初期化されます。

ウィンドウ構成初期化前(例)



ウィンドウ構成初期化後(例)



■ ウィンドウ構成の記憶機能

ウィンドウの構成は、Moto DR Player 終了時の状態を記憶します。次回起動時は、前回の状態を維持して表示します。

■ 記憶されるウィンドウ構成の内容

記憶されるウィンドウ構成の項目は、下記の通りです。

- ・ ウィンドウの状態(通常表示、最大表示)
- ・ ウィンドウ全体のサイズ(通常表示時のサイズ)
- ・ サブビューウィンドウ、地図ウィンドウ、速度ウィンドウ、G グラフウィンドウの表示状態
- ・ すべてのウィンドウの幅、高さ

録画ファイルを連結保存する

●録画ファイル連結保存機能について

読み込んだファイルの範囲を指定して、つなぎ目のない1つのファイルに連結して保存出来ます。
連結保存したファイルは、本ソフトウェア以外のプレイヤーソフトウェアによる再生や動画編集ソフトによる編集などをおこなうことが出来ます。

注 意

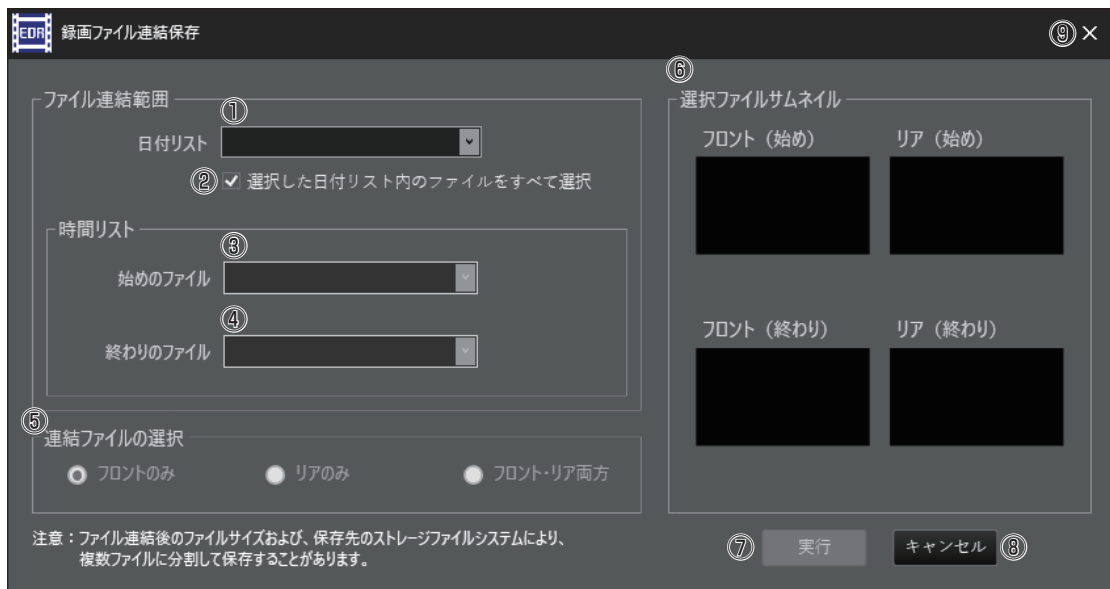
- ・本ソフトウェアでは、連結保存したファイルの読み込みや再生は出来ません。
- ・EDR で記録した GPS 位置情報や G センサーのデータは、連結保存したファイルには含まれません。
- ・連結保存するファイル数や保存先のファイルシステムによって、複数のファイルに分割して保存されることがあります。
- ・連結保存するファイル数が多い場合やご使用の PC 環境によって、連結保存に時間が掛かる場合があります。
- ・連結保存の選択範囲に、上書き保存やファイルの消去などで欠落しているファイルがある場合、欠落ファイルの前後のファイルを連結して保存します。

●録画ファイルを連結保存する

連結保存画面の説明および連結保存の方法について説明します。

■録画ファイル連結保存画面の説明

録画ファイルの連結保存画面で、連結保存したい対象ファイルから日付リスト、時間リスト、フロントカメラファイル、リアカメラファイルの選択をおこないます。



- ①「日付リスト」プルダウンリスト
読み込んでいるファイルから、連結保存する日付リストを選択します。
- ②「選択した日付リスト内のファイルをすべて選択」チェックボックス
選択した日付リストに含まれるすべてのファイルを連結保存します。
- ③「始めのファイル」プルダウンリスト(②のチェックを外した場合に選択可能です)
連結保存を開始したい時間リストを選択します。
- ④「終わりのファイル」プルダウンリスト(②のチェックを外した場合に選択可能です)
連結保存を終わりにする時間リストを選択します。
- ⑤「連結ファイルの選択」ラジオボタン
2 カメラモデルの場合、連結保存するカメラの録画ファイルを選択します。
1 カメラモデルの場合、「フロントのみ」以外は選択出来ません。
「フロント・リア両方」を選択した場合、フロントとリアカメラのファイルがそれぞれ連結保存されます。
- ⑥「選択ファイルサムネイル」
フロントとリアで選択した始めのファイル、終わりのファイルをそれぞれのサムネイルに表示します。
1 カメラモデルの場合は、フロントサムネイルのみ表示します。
- ⑦「実行」ボタン
録画ファイルの連結保存を実行します。
- ⑧「キャンセル」ボタン / ⑨「×」(閉じる)ボタン
録画ファイルの連結保存をキャンセルします。

■録画ファイル連結保存の手順

1. 連結する録画ファイルを読み込む。「ファイルを読み込む」(24 ～ 25 ページ)参照
録画ファイルを読み込み済みの場合は、次の手順に進みます。

2. 録画ファイル連結保存の画面を表示します。

・読み込み画面の表示方法は、2通りあります。

I. メニューバーの「ファイル」から「録画ファイル連結保存」をクリックし表示する。



II. ショートカットキー [Ctrl] + [Shift] + [S] で、表示する。



3. 「ファイル連結ファイル」の「日付リスト」プルダウンリストから、連結する日付リストを選択します。

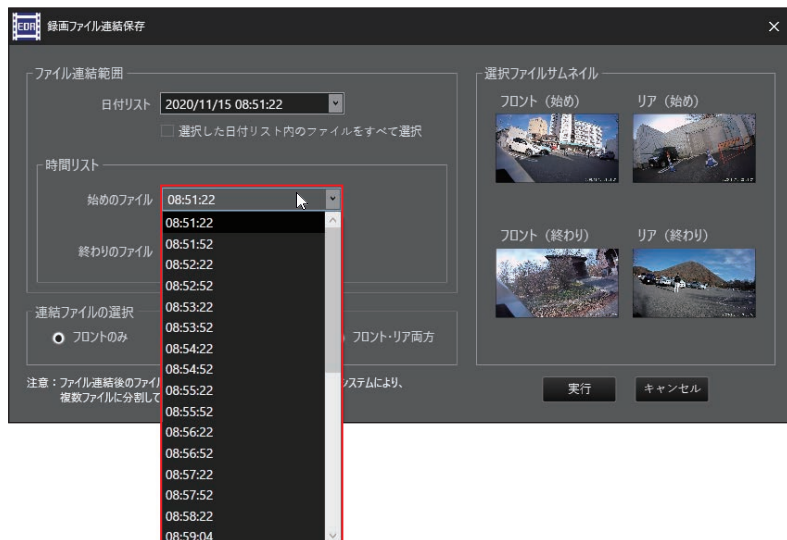


4. 日付リストの選択が完了すると、選択範囲の始めと終わりのファイルサムネイルが「選択ファイルサムネイル」に表示されます。

5. 選択した日付リストのすべてを連結保存する場合は、「選択した日付リスト内のファイルをすべて選択」チェックボックスにチェックを入れ、手順 8 へ進みます。
選択した日付リストのファイル内から連結する範囲を指定する場合は、「選択した日付リスト内のファイルをすべて選択」チェックボックスのチェックを外します。



6. 時間リストの「始めのファイル」選択プルダウンリストから、連結保存を開始したいファイル(時間)を選択します。



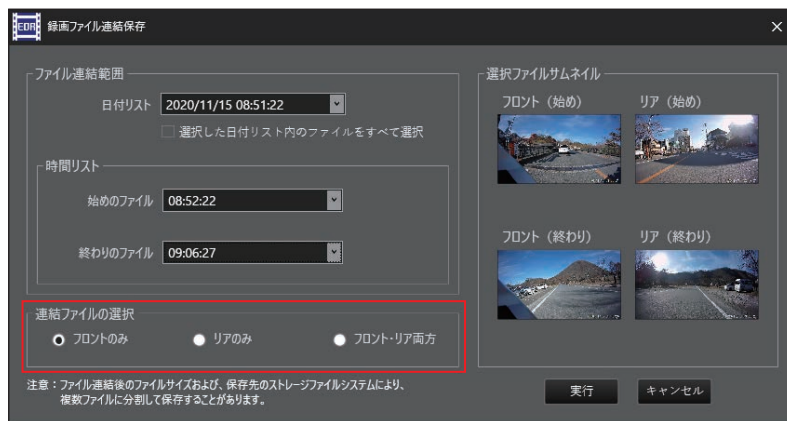
- ※ 選択出来る始めのファイルは、終わりのファイルで選択されているファイルよりも時間が前のファイルになります。

7. 時間リストの「終わりファイル」選択プルダウンリストから、連結保存を終了したいファイル(時間)を選択します。



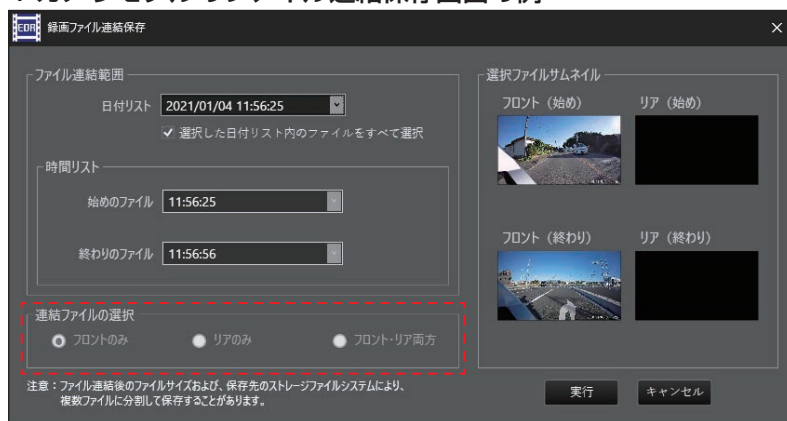
- ※ 選択出来る終わりのファイルは、始めのファイルで選択されているファイルよりも時間が後のファイルになります。

8. 「連結ファイルの選択」から、対象のカメラのファイルを選択します。



※ 1 カメラモデルの録画ファイルの場合、カメラが 1 つのため、「フロントのみ」が自動で選択されます。「リアのみ」と「フロント・リア両方」は、選択出来ません。

1 カメラモデルのファイル連結保存画面の例

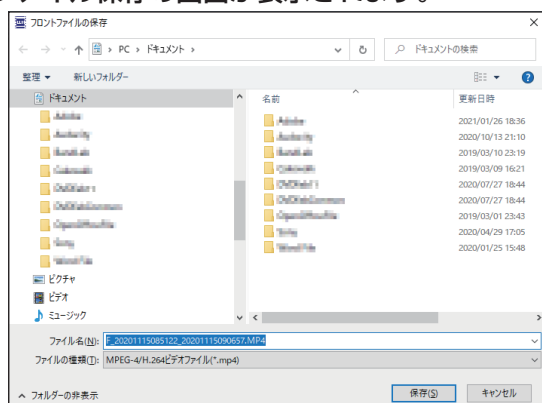


9. 「実行」ボタンをクリックします。

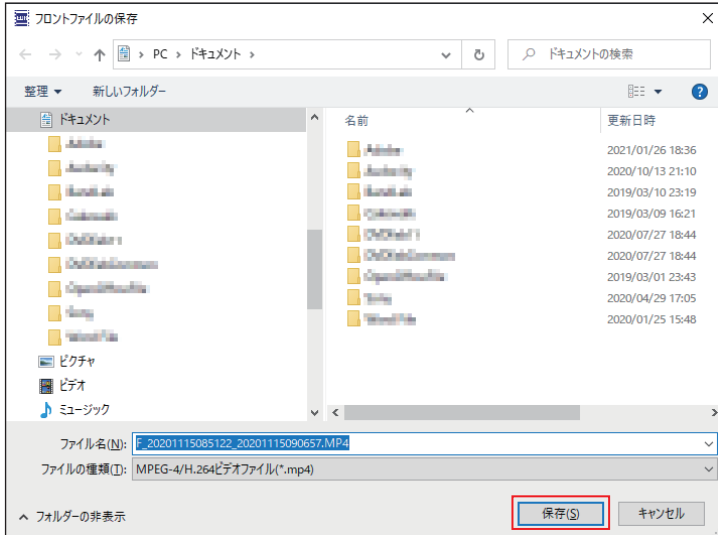


便利な機能

10. ファイル保存の画面が表示されます。

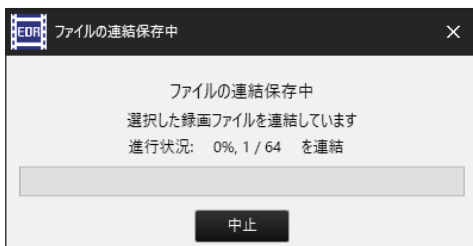


10. 連結ファイルの保存場所を指定し、ファイル名を入力後、「保存」ボタンを押します。



★ 手順 8 の連結ファイルの選択で「フロント・リア両方」を選択した場合、フロントファイルの保存操作後、リアファイルの保存画面が表示されます。フロントとリアは、別々のファイルで保存されますので、同じ作業を 2 度おこなってください。

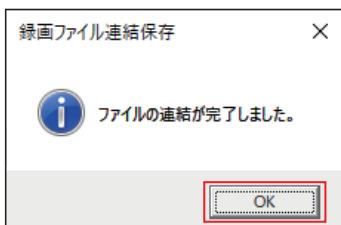
11. ファイルの連結保存が実行されます。



- ※ 「中止」ボタンまたは「×」(閉じる)ボタンをクリックすると、ファイルの連結保存が中止されます。中止した場合、連結保存中のファイルは削除されます。
- ※ 連結後の 1 ファイルの最大容量を 4GB に制限しています。連結保存によって、1 ファイルの最大容量を超える場合、ファイル名の末尾に「-2」、「-3」・・・を付与してファイルを保存します。
- ※ 連結後の 1 ファイルの最大容量が 4GB 以下の場合でも、保存先のファイルシステムの制限によって、連結後の 1 ファイルの容量をファイルシステムの上限容量で分割保存します。この場合、ファイル名の末尾に「-2」、「-3」・・・を付与してファイルを保存します。

12. ファイルの連結保存が完了すると、連結完了の通知画面が表示されます。

「OK」ボタンをクリックして、連結完了の通知画面を閉じます。



13. 連結保存完了の通知画面を閉じると、録画ファイル連結保存画面に戻ります。継続してファイルを連結保存する場合は、そのまま作業をしてください。ファイルの連結保存を終了する場合は、「キャンセル」ボタンまたは「×」ボタンをクリックして、録画ファイル連結保存画面を閉じてください。

以上で「録画ファイル連結保存の手順」の説明は終わりです。

■ GPS ログファイルを保存する ※GPS 搭載モデルのみ

●GPS ログファイルの保存機能について

読み込んだファイルの日付リストの範囲を指定して、GPS のログ(位置情報の履歴)を保存します。保存したログファイルは、Google マップや Google Earth などの地図ソフトウェア、ロケーション管理ソフトウェアで使用出来ます。

注 意

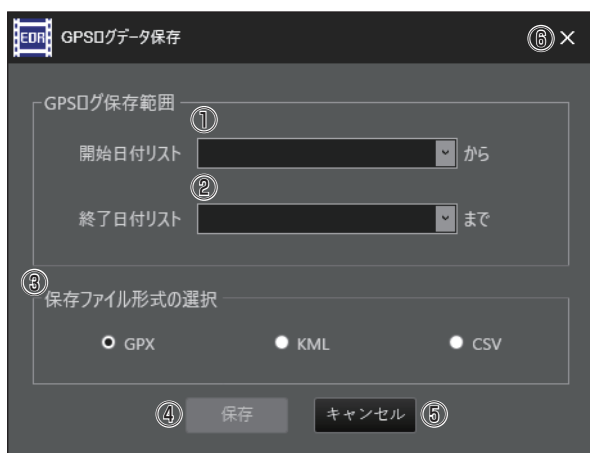
- ・本ソフトウェアでは、保存したログファイルの読み込みや再生は出来ません。
- ・EDR で記録した日時、緯度、経度の情報が、ログファイルとして保存されます。
- ・「GPS ログデータ保存」は、GPS 搭載モデル以外で記録した録画ファイルでも操作上可能です。しかし、録画ファイル内にログデータが記録されていないため、保存されたファイルにログ情報は記録されません。

●GPS ログファイルを保存する

GPS ログファイル保存画面の説明および保存の方法について説明します。

■GPS ログファイル保存画面の説明

GPS ログファイル保存画面で、GPS ログ保存範囲、保存ファイル形式の選択をおこないます。



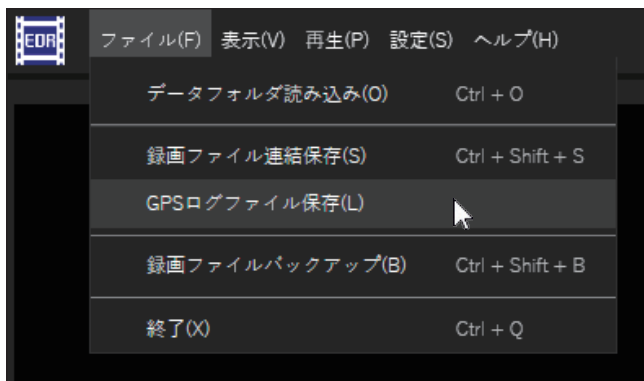
- ① 「開始日付リスト」のプルダウンリスト
読み込んでいるファイルから、保続する GPS ログファイルの開始日付リストを選択します。
- ② 「終了日付リスト」のプルダウンリスト
読み込んでいるファイルから、保続する GPS ログファイルの終了日付リストを選択します。
- ③ 「保存ファイル形式の選択」ラジオボタン
保存するファイル形式を GPX、KML、CSV から選択します。
- ④ 「保存」ボタン
GPS ログファイルを保存します。
- ⑤ 「キャンセル」ボタン / ⑥ 「×」(閉じる)ボタン
GPS ログファイルの保存をキャンセルします。

■GPS ログファイル保存の手順

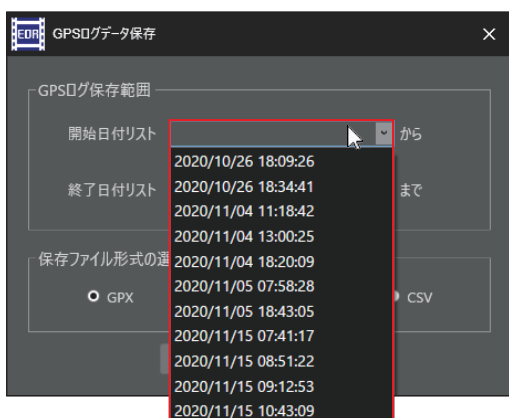
1. GPS ログを保存する対象の録画ファイルを読み込みます。「ファイルを読み込む」(24 ～ 25 ページ)参照
録画ファイルを読み込み済みの場合は、次の手順に進みます。

2. GPS ログファイル保存画面を表示します。

メニューバーの「ファイル」から「GPS ログファイル保存」をクリックし表示します。



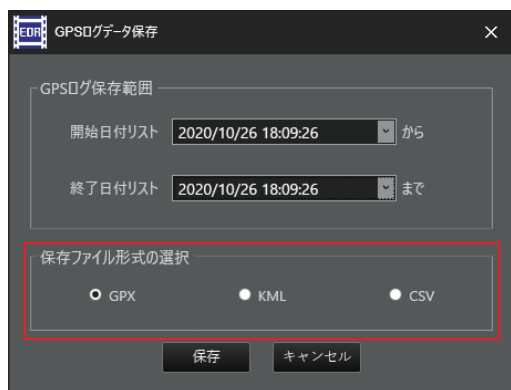
3. 「GPS ログ保存範囲」の「開始日付リスト」プルダウンリストから、保存を開始する日付リストを選択します。



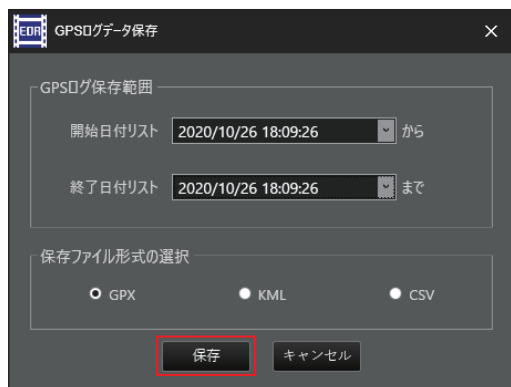
4. 「GPS ログ保存範囲」の「終了日付リスト」プルダウンリストから、保存を終了する日付リストを選択します。



5. 「保存ファイル形式の選択」から、GPS ログを保存するファイル形式を選択します。

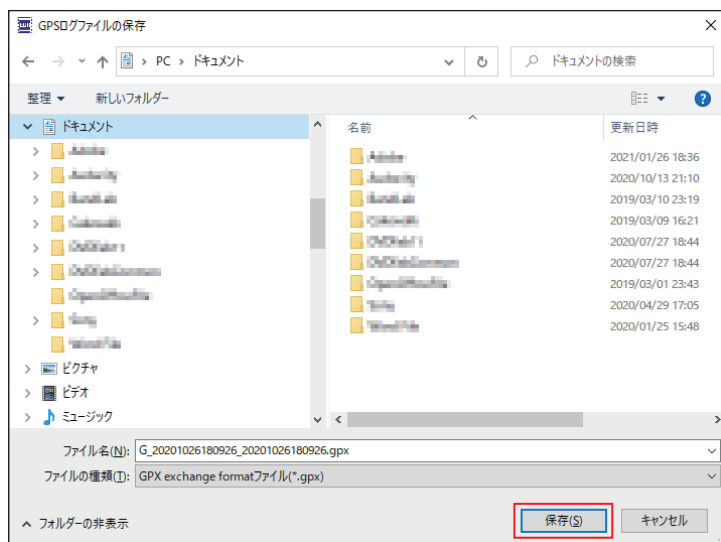


6. 「実行」ボタンをクリックします。

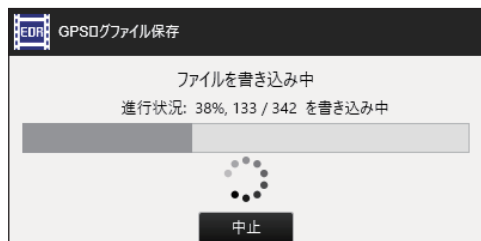


7. ファイル保存の画面が表示されます。

GPS ログファイルの保存場所を指定し、ファイル名を入力後、「保存」ボタンを押します。
またこの画面でも保存するファイル形式(ファイルの種類)を変更することが出来ます。

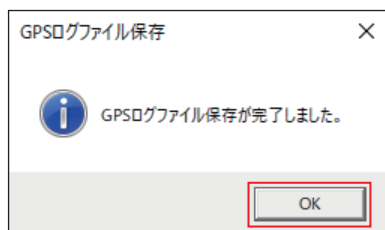


8. GPS ログファイルの保存が実行されます。



※ 「中止」ボタンをクリックすると、GPS ログファイルの保存が中止されます。中止した場合、保存中のファイルは削除されます。

-
10. GPS ログファイルの保存が完了すると、保存完了の通知画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックして、保存完了の通知画面を閉じます。



以上で「GPS ログファイル保存の手順」の説明は終わりです。

録画ファイルをバックアップする

●録画ファイルバックアップ機能について

読み込んだファイルをフォルダやファイルの構成を保ったまま、指定のフォルダへバックアップします。バックアップしたファイルは、本ソフトウェアで再生、録画ファイルの連結保存、GPS ログファイル保存が出来ます。

注 意

- ・バックアップするファイル数が多い場合やご使用の PC の環境によって、バックアップに時間が掛かることがあります。

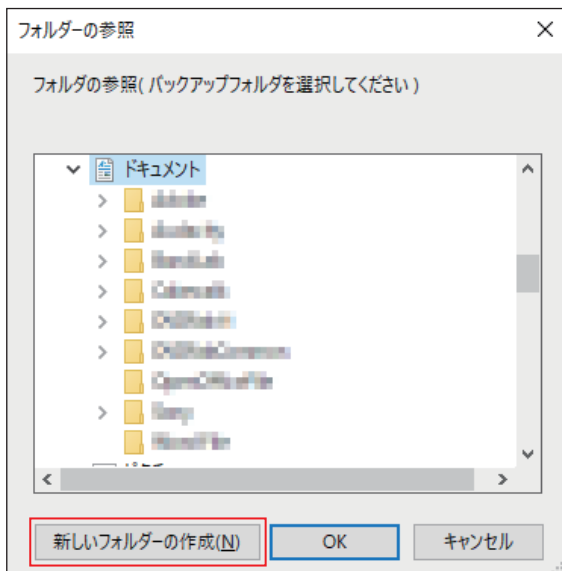
●録画ファイルをバックアップする

■録画ファイルバックアップの手順

1. バックアップする対象の録画ファイルを読み込む。「ファイルを読み込む」(24 ～ 25 ページ)参照
録画ファイルを読み込み済みの場合は、次の手順に進みます。
2. バックアップ先のフォルダーの参照画面を表示します。
メニューバーの「ファイル」から「録画ファイルバックアップ」をクリックし表示します。



3. フォルダーの参照画面から、「新しいフォルダーの作成」をクリックします。

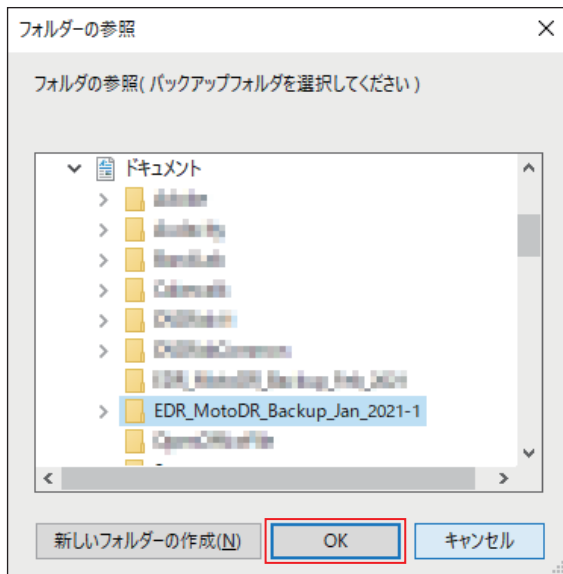


4. 新しいフォルダーの名称を入力します。

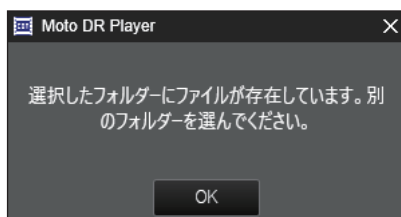


※必ず新しいフォルダーを作成し、バックアップしてください。また、新しいフォルダーの名称は、バックアップの内容が分かる名称としてください。

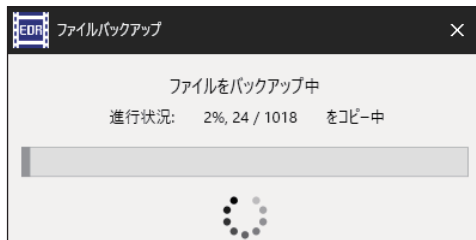
5. 手順 4 でフォルダー名称を入力したフォルダーを選択し、「OK」ボタンをクリックします。
(例として「EDR_MotoDR_Backup_Jan_2021-1」の名称を使用)



- ※ 誤って既存バックアップフォルダーを指定し、「OK」ボタンをクリックしても、フォルダー内に別の録画ファイルが保存されていた場合に限り、下記通知画面を表示し注意を促します。表示された際は、「OK」ボタンをクリックし、手順 2 からやり直してください。

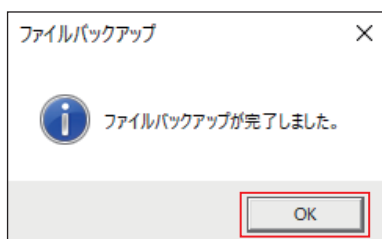


6. 録画ファイルのバックアップが実行されます。



- ※ 「×」(閉じる) ボタンをクリックすると、録画ファイルのバックアップは中止されます。中止した場合、バックアップ中のファイルは、中止するまでに保存されたファイルが残ります。後から差分をバックアップすることは出来ません。

7. 録画ファイルのバックアップが完了すると、バックアップ完了の通知画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックして、バックアップ完了の通知画面を閉じます。



以上で「録画ファイルバックアップの手順」の説明は終わりです。

■ Moto DR Player で本体の録画 / 録音設定をする

● 本体の録画 / 録音の設定機能について

本ソフトウェアで、EDR 本体の録画 / 録音設定をすることが出来ます。

注 意

- ・ 録画 / 録音の設定には、EDR 本体でフォーマットして録画したファイルが保存されている microSD カードが必要です。
- ・ EDR 本体の設定は、設定を書き込んだ microSD カードを EDR 本体に挿入し、EDR 本体の電源が ON されたときに反映されます。
- ・ 本ソフトウェアで出来る設定は、録画 / 録音の設定のみです。microSD カードのフォーマットや本体時刻同期などの設定は出来ません

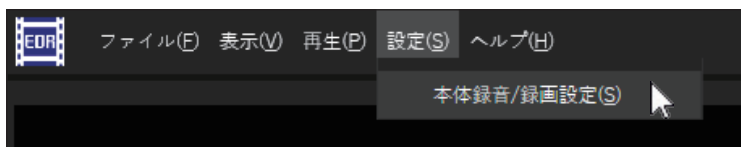
● 本体の録画 / 録音設定をする

■ 本体の録画 / 録音設定手順

1. EDR 本体でフォーマットした microSD カードを PC に接続し、microSD カードのファイルを読み込みます。「ファイルを読み込む」(24 ~ 25 ページ)参照

2. 本体録画 / 録音設定画面を表示します。

メニューバーの「設定」から「本体録音 / 録画設定」をクリックし表示します。



3. 各項目の設定値を選択します。



- ※ 画面を開いたときに表示される各項目は、設定ファイルが SD カードに書き込まれている場合はその設定値が表示され、設定ファイルが SD カードに書き込まれていない場合は初期値が表示されます。現在の EDR 本体に設定されている設定値ではありません。

4. 各項目の設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

設定した内容が、microSD カードに書き込まれます。

5. 本ソフトウェアを終了します。「Moto DR Player を終了する」(11 ページ)参照

6. PC を操作して、microSD カードを安全に取り外します。

7. EDR 本体に microSD カードを挿入し、EDR 本体の電源を入れます。(本体の取扱説明書を参照してください)

8. 設定した内容が EDR 本体に反映され、録画を開始します。

以上で「本体の録画 / 録音の設定手順」の説明は終わりです。

■ こんなときは－Q & A－

ここに記載される事象が発生したときは、確認項目に従って対応してください。確認項目に従い対応しても事象が改善されない場合は、弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● Moto DR Player のインストール・アンインストール

■ Moto DR Player をインストール出来ない。

- ・ インストールしている PC の OS は Windows 10 ですか？
PC の OS が Windows XP / Vista / 7 / 8 など Windows 10 以外の場合、インストール出来ません。
Windows 10 がインストールされた PC を準備し、インストールしてください。
- ・ Windows のモードが「S モード」ではありませんか？
「S モード」になっている場合、インストール出来ません。
確認方法は、画面左下の [■] アイコンを右クリックし、「システム」を開くと「バージョン情報」または、「詳細情報」が表示されます。「Windows の仕様」の「エディション」に「Windows 10 Home in S mode」のように「S mode」の表記がある場合、「S モード」になっています。
「S モード」を解除するには、画面左下の [■] をクリックし、「設定」を開き、「更新とセキュリティ」から「ライセンス認証」を開き、「Microsoft Store に移動」をクリックします。「Microsoft Store」の「S モードをオフにする」画面から「入手」ボタンをクリックします。Microsoft のアカウントでサインインします。（アカウントがない場合は「作成」から作成します）「すべて完了しました！」のメッセージが表示され、「S モード」が解除されます。解除後は、「バージョン情報」または、「詳細情報」の「Windows の仕様」の「エディション」に「S mode」表記がないことを確認してください。
一度「S モード」を解除すると、再び「S モード」に戻すことは出来ません。
- ・ サインイン中のアカウントに管理者権限がありますか？
ご使用の PC に対して、サインインしているアカウントに管理者権限が付与されていない場合、本ソフトウェアのインストールは出来ません。ご使用の PC の管理者にお問い合わせください。

■ Moto DR Player がアンインストール出来ない。

- ・ サインイン中のアカウントに管理者権限がありますか？
サインインしているアカウントに管理者権限が付与されていない場合、本ソフトウェアのアンインストールは出来ません。ご使用の PC の管理者にお問い合わせください。

● 動作全般

■ Moto DR Player が起動しない。

- ・ インストールしている PC の OS は Windows 10 Version 1809 以降ですか？
PC の Windows 10 のバージョンが 1809 に満たない場合、Moto DR Player を起動出来ません。
Windows Update にてバージョンを上げるか、Version 1809 以降の Windows 10 をインストールしてください。
- ・ 本ソフトウェアの起動に必要なファイルを削除していませんか？
インストールしたファイルを削除したり、改変すると、本ソフトウェアを起動出来なくなります。一度、本ソフトウェアをアンインストールし、再度インストールしてください。

■ Moto DR Player の起動が遅い、動作が全体的に遅い。

- ・ 本ソフトウェアの動作要件を満たした PC を使用していますか？
動作システム要件（2 ページ）を満たしていない場合、起動や動作が遅くなります。動作システム要件を満たした PC への変更やシステム構成変更をご検討ください。
- ・ Windows Update や他のソフトウェアなどが動作していませんか？
バックグラウンドで Windows Update やセキュリティソフトのウィルスチェックなど、他のソフトウェアが動作していると、起動や動作が遅くなることがあります。他のソフトウェアの動作が完了するのを待つか、他のソフトウェアの処理を中断するなどしてから、本ソフトウェアを起動してください。
- ・ メモリ空き容量が 1GB 以上（目安）ありますか？
本ソフトウェアを起動する前のメモリ空き容量が少ない場合、起動に時間が掛かることがあります。使用していない他のソフトウェアを終了し、メモリの空き容量を増やしてから、本ソフトウェアを起動してください。使用していないソフトウェアを終了しても、メモリの空き容量を十分に確保出来ない場合は、空き容量確保のため、メモリの増設（交換）をご検討ください。

●ファイル読み込み動作

■ ファイルの読み込みでエラー「フォルダ内に有効ファイルがありません」が発生する。

- ・ 指定したフォルダーに間違いはありませんか？
「ファイルを読み込む」(24～25 ページ)をご確認頂き、正しいフォルダーを指定してください。
- ・ フォルダー構成を変更していませんか？
フォルダー構成を変更すると、読み込み出来なくなります。「録画ファイルについて」(5 ページ)を参照してフォルダー構成を確認し、必要に応じて修正してください。
- ・ フォルダー名やファイル名を変更していませんか？
フォルダー名やファイル名を変更すると、読み込み出来なくなります。「録画ファイルについて」(5 ページ)を参照してフォルダー名やファイル名を確認し、必要に応じて修正してください。

■ ファイルの読み込みが終わらない。

- ・ 破損しているファイルが含まれていませんか？
破損したファイルが含まれていると、ファイルの読み込み処理が出来なくなります。
読み込み画面右上の「×」(閉じる)ボタンをクリックし読み込みを中止してから、ファイルや保存されているストレージ(microSD カード、SSD、HDD など)に異常がないか確認してください。

■ ファイルの読み込みが遅い、時間が掛かる。

- ・ 長時間連続録画したファイルではありませんか？
ファイルの読み込み時にマージ(連結)処理をおこなうため、連続録画時間が長いと連結するファイルが多くなり、読み込みに時間が掛かります。
- ・ 読み込むファイル数が多くありませんか？
ファイルの読み込み時にマージ(連結)処理をおこなうため、読み込みするファイル数に応じて連結するファイルが多くなり、読み込みに時間が掛かります。
- ・ ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
ファイルを読み込む機器の転送速度が遅いと、ファイルの読み込みに時間が掛かります。
(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続している。SATA1 規格の HDD からファイルを読み込んでいる。など)
- ・ 他のソフトウェアが動作していませんか？
読み込みしているファイルがあるストレージに本ソフトウェア以外のソフトウェアが同時にアクセスしていると、読み込みに時間が掛かります。他のソフトウェアを終了するか、しばらく待ってから読み込みをおこなってください。(例：microSD のファイルを別のストレージにコピーしながら、本ソフトウェアでコピー中のファイルを読み込んでいる。セキュリティソフトがファイル読み込み中のストレージに対し、ウィルススキャンを実行している。など)

●メインビュー・サブビューの再生動作

■ 再生画像が一瞬止まる、コマ落ちする。

- ・ PC のグラフィック性能が不足していませんか？
PC のグラフィック処理性能が不足すると、発生します。
同時に起動しているソフトウェアを終了することで、改善することがあります。

■ 再生速度を変更すると画像が一瞬止まる、コマ落ちする。

- ・ PC のグラフィック性能が不足していませんか？
PC のグラフィック処理性能が不足すると、発生します。
同時に起動しているソフトウェアを終了することで、改善することがあります。

■ 再生中に時々音声にノイズ(「ブツ」や「ブチ」音)が発生する。

- ・ ファイルの変わり目で発生していませんか？
録画した音声に低い周波数成分が多く含まれていると、ファイルの変わり目でノイズが発生することがあります。

●地図ウィンドウ動作

■ 地図ウィンドウに地図が表示されず、自車位置(走行軌跡)のみ表示される。

- ・インターネットに接続されていますか？

地図の情報は、インターネットから取得しています。PC がインターネットに接続されているか確認してください。またネットワークの設定やセキュリティの設定により、本ソフトウェアがインターネットに接続出来ないことがあります。設定の確認もしてください。

■ 地図ウィンドウに地図や自車位置(走行軌跡)が表示されない。

- ・GPS を搭載していないモデルの映像を読み込んでいませんか？

地図ウィンドウの地図表示は、GPS 搭載モデルで録画したファイルに対応しています。GPS を搭載していないモデルで録画したファイルには GPS の位置情報が含まれていないため、地図の表示はされません。

- ・GPS の電波を受信しにくい場面から再生していませんか？

地下や屋内、ビルの間、高架下、山間部、トンネル内など、GPS の電波を受信しにくい場面のファイルから再生を開始した場合、GPS による位置情報が記録されていないため、地図の表示はされません。

- ・EDR の電源オン直後のファイルを再生していませんか？

EDR の電源オン直後は、自車位置を測位するまで時間が掛かることがあるため、その間、位置情報が記録されず、地図表示が出来ないことがあります。

■ 地図ウィンドウの地図が動かない、軌跡表示が残らないことがある。

- ・GPS 電波を受信しにくい場面で発生していませんか？

地下や屋内、ビルとビルの間、高架下、山間部、トンネル内など、GPS の電波を受信しにくい場面では、GPS による位置情報が記録されていないため、地図が移動しないことや軌跡が残らないことがあります。

- ・再生ツールの操作をおこなったタイミングで、軌跡が途切れていませんか？

再生ツールの各種操作によって、地図の軌跡表示が途切れることがあります。

■ 地図や道路の情報が変わった。道路表示の外に走行軌跡表示が残る。

- ・Google マップの地図情報が更新されていないまたは更新された可能性があります。

本ソフトウェアの地図は Google マップのサービスを使用しています。そのため、録画時の位置情報、走行軌跡が再生時の情報と異なる場合、録画時の走行状況と地図表示が相違することがあります。

■ 地図の道路表示の外に走行軌跡表示が残る。

- ・Google マップの地図情報が更新されていないまたは更新された可能性があります。

本ソフトウェアの地図は Google マップのサービスを使用しています。そのため、録画時の位置情報、走行軌跡が再生時の情報と異なる場合、録画時の走行状況と地図表示が相違することがあります。

- ・GPS 電波を受信しにくい場面で発生していませんか？

ビルとビルの間、高架下、山間部など GPS の電波を受信しにくい場面では、位置情報の精度が低下するため、地図の道路表示から外れた走行軌跡を表示することがあります。

- ・高速(高い速度)で走行しているときに発生していませんか？

GPS の位置情報は通常 1 秒間隔で記録しています。そのため、緩やかなカーブの道、急カーブ、交差点などを高速で走行した場合、地図の道路表示から外れた走行軌跡を表示することがあります。

■ 地図上の自車位置が大きく(海の上や、国外などに)外れることがある。

- ・EDR 本体の GPS 電波受信に異常が発生した可能性があります。

衛星からの GPS 電波受信時に電波障害や外部からの電磁ノイズにより、EDR 本体への信号伝達が正確におこなわれず、誤った位置情報が記録されたものと考えます。

■ 地図をスクロール操作しても、自車位置の場所に戻ってしまう。

- ・録画ファイルの再生中は、軌跡表示の更新タイミングで、自車位置を中心とした地図表示をする仕様となっているため、地図をスクロールしても、自車位置に戻ってしまいます。スクロール操作をする場合は、再生を一時停止してください。

●ファイルリスト動作

■ 日付リストが選択出来ない。

- ・録画ファイルを再生していませんか？
録画ファイルの再生中は、日付リストの変更は出来ません。再生を停止してから、日付リストを選択してください。

■ 1 ファイル再生のチェックボックスを選択または解除出来ない。

- ・録画ファイルを再生していませんか？
録画ファイルの再生中は、1 ファイル再生のチェックボックスを選択または解除出来ません。再生を停止してから、1 ファイル再生のチェックボックスを選択または解除してください。

●速度ウィンドウ動作

■ 走行速度が「0km/h」の表示のままになる。

- ・GPS を搭載していないモデルの映像を読み込んでいませんか？
速度ウィンドウの速度表示は、GPS 搭載モデルで録画したファイルに対応しています。GPS を搭載していないモデルには、GPS の位置情報が含まれていないため、速度の表示はされません。

■ 実際の走行速度と異なる速度が表示される。

- ・GPS の位置情報から演算し、走行速度を表示しています。
1 秒毎に更新される位置情報から、移動距離を演算し速度を表示しているため、実際の走行速度と異なる速度を表示することがあります。(位置情報の精度や更新の間隔で、速度表示に影響が出ます)

●G グラフウィンドウ動作

■ G グラフの X, Y, Z が、すべて「0.0G」の表示のままになる。

- ・EDR 本体の「衝撃検知感度」の設定が、「OFF」になっていませんか？
「衝撃検知感度」の設定が「OFF」になっている場合、G センサーの情報が記録されません。EDR 本体の「衝撃検知感度」を「1 ～ 5」のいずれかに設定してください。

■ G グラフの X, Y, Z の方向が分からない。車両の向きと一致しない。

- ・G グラフの X, Y, Z の方向は、EDR 本体の向きで決まります。
EDR 本体に対する X, Y, Z の方向は、「G センサー方向図」(23 ページ)に記載しています。G グラフの方向を車両と一致させるには、EDR 本体の設置向きを車両と合わせてください。

●ウィンドウ操作

■ ウィンドウの表示が戻らなく(表示しなく)なった。

- ・本ソフトウェアの処理とウィンドウ操作のタイミングで、発生した可能性があります。
ウィンドウ構成の初期化「ウィンドウ構成を初期の状態に戻す」(38 ページ)をして、再度お好みの表示へ変更してください。

■ ウィンドウの調整時に表示が乱れる。

- ・異常ではありません。
ウィンドウ調整時に画面の再描画処理をおこなうため、表示が乱れることがあります。ウィンドウ調整の操作をゆっくりおこなうことで、軽減されることがあります。

●録画ファイル連結保存

■ 連結したいファイルがない。見つからない。

- ・対象の録画ファイルを読み込んでいますか？
現在読み込んでいるファイルが、連結保存出来る対象のファイルです。日付リストや時間リストに連結保存対象のファイルがない場合、連結保存したい録画ファイルが含まれるフォルダを再度読み込んでください。
- ・対象のファイルを見落としていませんか？
録画ファイル連結保存の画面で録画ファイルの内容を確認する方法は、サムネイル表示のみとなり、対象のファイルを見落とす恐れがあります。一度、再生画面に戻り、対象ファイルの日付リスト、時間リストをメモしてから、再度連結保存の作業をおこなってください。

■ ファイル連結保存の処理が遅い、時間が掛かる。

- ・連結するファイル数や容量が多くありませんか？
連結保存するファイル数やファイルの容量が多くなると、連結処理に時間が掛かります。
- ・ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
ファイルの読み込みや書き込む機器の転送速度が遅いと、ファイルの読み込みや書き込みに時間が掛かります。(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続している。保存先のストレージに microSD カードを選択している。など)

■ 連結したファイルが複数に分割して保存される。

- ・連結するファイル数や容量が多くありませんか？
1 ファイルの最大容量を 4GB に制限して保存します。連結保存によって、最大容量を超過した場合、複数に分割して保存します。
※ファイルシステムが FAT16 の場合は、上限を 2GB に制限して保存します。

■ 連結したファイルを Moto DR Player で開けない。

- ・連結保存したファイルには、EDR で記録した GPS 位置情報や G センサーのデータが含まれないため、開けません。一般的なプレイヤーソフトウェアや動画編集ソフトを使用して開いてください。

■ 連結したファイルの画質が元のファイルの画質と異なる。

- ・ファイルの連結保存は、ファイルの展開および保存時の一連の処理により、連結前のファイルと比較した場合、画質が異なる(劣化して見える)ことがあります。

■ 連結したファイルを再生すると時々音声にノイズ(「ブツ」や「ブチ」音)が発生する。

- ・ファイルのつなぎ目で発生していませんか？
録画した音声に低い周波数成分が多く含まれていると、ファイルの変わり目でノイズが発生することがあります。

●GPS ログファイル保存

■ GPS のログファイルを保存したい録画ファイルがない。見つからない。

- ・対象の録画ファイルを読み込んでいますか？
現在読み込んでいるファイルが、GPS ログファイル保存出来る対象のファイルです。日付リストに GPS ログファイル保存対象のファイルがない場合、GPS ログファイル保存したい録画ファイルが含まれるフォルダを再度読み込んでください。

■ GPS のログファイルを保存したが、ログの中身がないファイルが保存された。

- ・GPS を搭載していないモデルの録画ファイルを GPS ログファイル保存していませんか？
GPS ログファイル保存は、GPS 搭載モデルで録画したファイルのみ対応しています。GPS を搭載していないモデルの録画ファイルを GPS ログファイル保存した場合、ログデータが記録されていないファイルが保存されます。

●録画ファイルバックアップ

■録画ファイルバックアップの処理が遅い、時間が掛かる。

- ・バックアップするファイル数や容量が多くありませんか？
バックアップするファイル数やファイルの容量が多くなると、バックアップ処理に時間が掛かります。
- ・ストレージ機器(カードリーダーなど)の転送速度が遅くありませんか？
ファイルの読み込みや書き込む機器の転送速度が遅いと、バックアップ処理に時間が掛かります。
(例：USB3.0 対応機器を USB2.0 のポートに接続している。保存先のストレージに microSD カードを選択している。など)

●本体録画 / 録音設定

■本体録画 / 録音設定が EDR 本体に反映されない。

- ・microSD カードのファイルを読み込んでいますか？
microSD カード以外の場所に保存されたバックアップデータを読み込んだ場合、設定ファイルは microSD カードに書き込まれません。再度 microSD カードからファイルを読み込み、設定してください。
- ・EDR 本体でフォーマットした microSD カードを使用していますか？
EDR 本体以外でフォーマットした microSD カードを使用した場合、EDR 本体が microSD カードを認識出来ず、設定が反映されません。
- ・SD カードアダプターを書き込み禁止(LOCK)状態で使用していませんか？
SD カードアダプターを書き込み禁止(LOCK)状態で録画 / 録音設定した場合、microSD に設定が書き込まれていません。SD カードアダプターの書き込み禁止(LOCK)を解除し設定してください。

●ヘルプ(オンラインサポートページ)

■ オンラインサポートページが表示されない。

- ・PC がインターネットに接続されていますか？
オンラインサポートページは、弊社のインターネット WEB サイトに接続して開くため、インターネット接続が必要です。インターネットに接続が出来ているか確認してください。

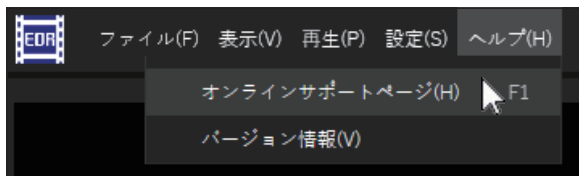
■ オンラインサポートページを開く

● オンラインサポートページについて

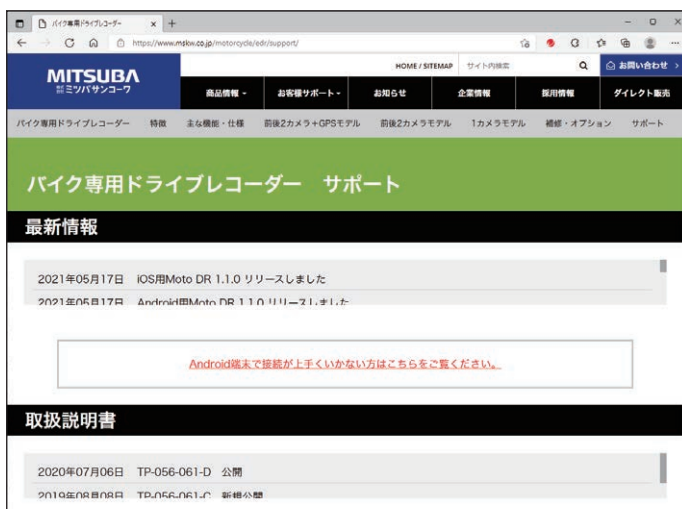
オンラインサポートページは、弊社のインターネットWEB サイトへ接続してWEB ブラウザで開きます。オンラインサポートページには、最新のソフトウェアの情報やサポート情報（よくある質問 Q&A）を掲載していますので、お問い合わせの前にご確認ください。

● オンラインサポートページを開く

- ・メニューバーの「ヘルプ」から「オンラインサポートページ」をクリックし表示します。



- ・PC で規定されたブラウザで、オンラインサポートページが開きます。



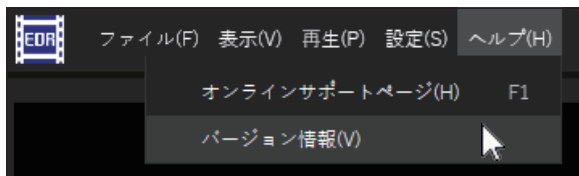
■ ソフトウェアのバージョンを確認する

● バージョン情報について

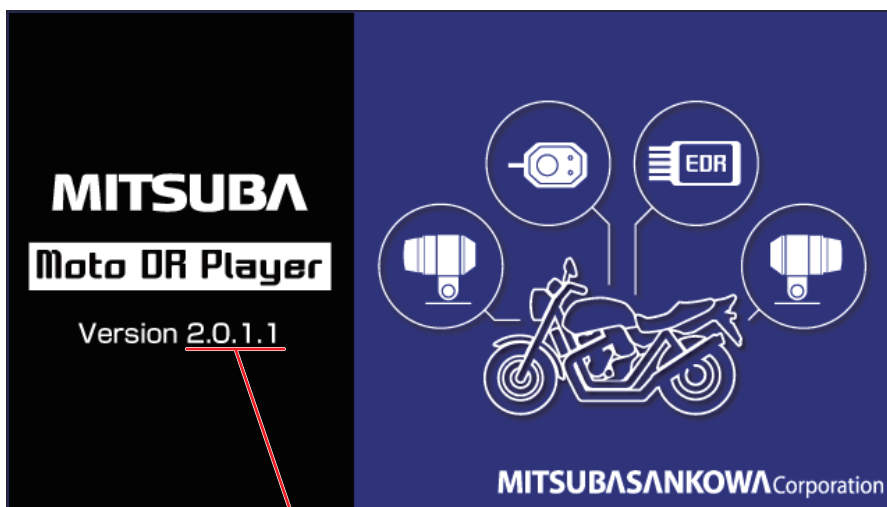
現在インストールされている Moto DR Player のバージョン情報を表示します。
弊社オンラインサポートページで最新のバージョンを確認するときや弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせ頂く際には、バージョン情報をあらかじめ確認してください。

● バージョン情報を開く

- ・メニューバーの「ヘルプ」から「バージョン情報」をクリックし表示します。



- ・バージョン情報の画面が開きます。



ソフトウェアのバージョン

- ・バージョン情報画面を閉じるときは、バージョン情報画面をクリックしてください。

■ ライセンス情報

●著作権

Copyright © 2021 MITSUBASANKOWA Corporation
Released under the MIT license, Apache license and BSD 3-Clause license.

License	License Web address
MIT License	https://licenses.nuget.org/MIT
Apache License	https://licenses.nuget.org/Apache-2.0
BSD 3-Clause License	https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause

●登録商標・商標

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel は、Intel Corporation またはその関連会社の商標です。
- microSD™、microSD、microSDHC、microSDXC は、SD Association の登録商標です。
- Google マップ、Google Earth は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他記載されている製品名・システム名・サービス名などは、一般的にそれぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

■ お問い合わせ窓口

本ソフトウェアのご使用にあたり、目的の動作が正しくおこなわれないときは、「こんなときは-Q&A-」(51～56 ページ)およびオンラインサポートページ(57 ページ)をご確認ください。
記載された処置をおこなっても改善が見られないときは、下記項目を分かる範囲で控えて頂き、弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

- お問い合わせ頂く内容について、具体的な状況やおこなった操作の手順など
- 動作環境や操作の変化点(正常に動作していたことがあるとき)
- PC のメーカーと品番、PC の構成内容
PC の構成内容の例
 - ・ CPU(プロセッサ)名
 - ・ メインメモリ容量
 - ・ GPU メモリ容量
 - ・ カードリーダーのメーカーと品番
 - ・ microSD カードのメーカーと品番、容量
- OS の種類とバージョン
例・ Windows 10 Home 64bit 20H2 / Windows 10 Pro 32bit 1909

株式会社 **ミツバサンコーワ**

本社 / 〒175-0094 東京都板橋区成増 3-3-4

<https://www.mskw.co.jp>

●商品に関するお問い合わせ窓口

株式会社ミツバサンコーワ カスタマーサポートセンター
〒379-2312 群馬県みどり市笠懸町久宮 289-3

☎ 0277-30-5802

M-059-069-C